

地理

715

理學士山上萬次郎著

外國之部上



最新女子地理教科書

大日本圖書株式會社

著 耶 次 萬 上 山 士 學 理

地理教科書及地圖概覽

- 最近中學地理教科書 全五册
◎日本部全一册 ◎外國部全三册 ◎地文部全一册
- 最近女子地理教科書 全四册
◎日本部全二册 ◎外國部全二册 ◎地文部全一册
- 最近地文學教科書 全一册
◎日本部全一册 ◎外國部全一册
- 最近中學教科用地圖 全四册
◎日本部全二册 ◎外國部全二册
- 最近女子教科用地圖 全三册
◎日本部全一册 ◎外國部全二册
- 英中中等教科用外國地圖 全一册

中等教育用白地圖

大日本圖書株式會社編輯 全貳拾枚

緒 言

本書は特に高等女學校の地理教科用として編述せる余が最近の著作なり。其の教材の分量及び配置は勿論例證の適切、叙述の簡潔、皆著者の意を用ひし所なり。然れども本書の活用によりて、高等普通教育上教授の効果を收むるは、一にこれを實地教育家の技倆に待つ。若し夫れ本書教授上の注意に就ては、余は別に一書を編し、特にこれを當局の諸士に頒つべし。

明治三十五年十二月

著 者 識

凡例

- 一、本書は余が明治三十五年一月編述せる最近地理學教科書に大訂正を施せしものにして、特に高等女學校の教科用として編述せしものなり。
- 二、地名及び人名は概ね同年十一月十五日官報所載地名及人名取調報告に據る。
- 三、人種に關するものは、東京帝國大學理科大學人類學教室所藏の原圖に據る。但し同教室主任坪井先生の許諾に基き、島居龍造君の選擇により、大野雲外君の揮毫に係る、爰に記して感謝の意を表す。
- 四、統計は概ね一九〇二年二月英國政家年鑑所載のものによる。

最新女子地理教科書 外國之部上卷 目次

緒論

一頁

一、地球の表面及び區分

一

二、大洲及び大洋

二

第一篇 アシヤ

二

第一章 總論——地文地理

二

一、境域

二

二、沿岸

三

三、地勢

四

四、水系

五

五、氣候

七

六、天産

八

七、概説

八

第二章 韓國

一、地文地理……………一〇

二、地方誌……………一三

三、人文地理……………一五

第三章 清國

第一節 地文地理

一、境域……………一九

二、沿岸……………一九

三、地勢……………二〇

四、水系……………二三

五、氣候……………二三

第二節 地方誌

一、區劃……………二四

二、支那本部……………二四

三、滿洲(東三省)……………三〇

四、蒙古……………三三

五、新疆省……………三三

六、青海……………三三

七、西藏……………三四

第三節 人文地理

一、住民……………三四

二、政治……………三七

三、産業……………三九

四、交通……………四〇

第四章 アジア洲中の獨立國

一、總説……………四三

二、シヤム……………四三

三、チバル、ブータン及びアフガニスタン……………四五

四、ベルシア及びオマーン……………四五

第五章 アジア洲中の附屬國……………四六

第一節 支那に於ける占領地……………四六

一、香港及び澳門……………四六

二、旅順口及び大連灣……………四八

三、威海衛……………四八

四、膠州灣……………四九

五、廣州灣……………五〇

第二節 北部アジア……………五〇

一、シベリア……………五一

二、中アジア……………五八

三、カフカス……………六〇

第三節 南部アジア……………六一

一、マライ諸島……………六一

二、印度支那……………六五

三、印度……………六七

第四節 西部アジア……………七五

一、イラン諸邦……………七五

二、アラビア……………七六

三、アジアトルコ……………七六

第六章 人文地理……………七八

一、住民……………七八

二、邦制……………八〇

三、産業……………八〇

四、交通……………八一

五、概説……………八三

第二篇 オセアニア……………八四

第一章 オーストラリア聯邦……………八四

第一節 地文地理

一、境域

二、沿岸

三、地勢

四、水誌

五、氣候

第二節 人文地理

一、住民

二、政治

三、産業

四、交通

第三節 各州誌

一、オーストラリア本部

二、タスマニア州

八四

八四

八四

八五

八五

八五

八六

八六

八七

八七

八九

九〇

九〇

九一

第二章 マライシア

一、總説

二、各島誌

第三章 ポリネシア

一、總説

二、メラネシア

三、ミクロネシア

四、ポリネシア本部

五、ニューカールランド

九二

九二

九三

九三

九三

九四

九六

九七

九八

最新女子地理教科書 外國之部上卷 挿圖版目録

韓國輪廓の概論	一〇五
朝鮮多島海の一部	一一
大同江の河口	一二
京城南大門	一四
釜山	一五
韓國人	一六
○黄河各道の變遷	二三
北京市街	二五
×上海	二七
厦門	二九
×滿洲の兵卒	三一
×蒙古の沙漠	三三
支那人の分布	三五
纏足と骨の畸形	三六
パンコクの王宮	四四
香港附近の讓與地方	四七
旅順口及び大連灣	四八
威海衛	四九
シベリアの大橋	五四
シベリア大鐵道東部	五五
ウラジオストク港の一	五六
×ウラヤオストク港の二	五七
×クラカタウ島及び附近	六二
○ツレース氏線	六三

マニラ灣及び附近	六四
シンガポール	六六
○印度の地勢	六八
○印度の鐵道	七二
カルカッタ	七三
ボンペー	七四
死海及び附近	七七
▲イエルサレム	七七
×ユーカリ樹	七八
鴨嘴及びカンガル	八九
シドニー	九〇
マオリ土人	九九

挿圖版出所

- 印は Mill—The International Geography
- ×印は Stanford—Compendium of Geography and Travel.
- ▲印は Foucault—Troisième Année de Géographie.

最新女子地理教科書外國之部上卷挿圖版目録終

最新女子地理教科書 外國之部上卷

理學士 山上萬次 耶著

緒論

一地球の表面及び區分。

地球の表面は陸と水とより成り、空氣は一樣にこれを包む。而して陸界、水界、氣界の相接する所は生物界の最も盛んなる部分なり。今赤道によりて地球を南北に分つときは、南北兩半球となり、一子午線によりて地球を東西に分つときは、東西兩半球となる。南北兩半球は四季相反し、東西兩半球は晝夜相反す。

北極洋は大
西洋の支
にして南極
の南大洋
の一部なり

二、大洲及び大洋。

地表上水陸の分布は一樣ならずして、水陸面積の比は凡そ三と一との如し。陸は大小數多の部分より成れども、大別してこれを六大洲とす。アジア・ヨーロッパ・アフリカ・オセアニア及び南北アメリカこれなり。水は互に連れども、陸の突出により、大別してこれを四大洋とす。大西洋・印度洋・Atlantic O. Southern O. 南大洋これなり。 Pacific O. Indian O.

第一篇 アジア

第一章 總論—地文地理

一、境域。

アジアは東半球の北部に位し、北は北極洋、南は印度洋、東は大平洋に臨み、西は畧ぼウラル山脈、地中海等によりて、ヨーロッパに境し、スエズ地峽によりてアフリカに接す。面積凡そ二百九十萬方里にして、地球上陸地全體の三分の一を占め、六大洲中最も大なり。全土の位置寒溫熱三帶に亘り、且つ其の東端と西端とは時刻の差十一時間に及ぶ。

二、沿岸。

アジアの海岸線はこれをヨーロッパに比すれば、割合に甚だ短し。大なる半島には大平洋の側に朝鮮・カムチャツカ、印度洋の側に印度支那・印度及びアラビア、地中海の側に小アジアあり。 Kamchatka Arabia Asia Minor

アジアの半島は大なるもののみならず

して海岸線の出入は乏

占む。就中アジアの南東部より北東部に亘れる群島は、大火山脈を其の中に通じ、遂に北アメリカのアレックサド諸島に連る。

三、地勢。

全土の中央より少しく南に偏して、パミル高原あり。四方に走れる大山脈はアジアを左の五部に分つ。

(イ) 北部アジア。北東に走れる天山及びアルタイ山系及び西方に走れるヒンヅークシ兩山脈以北の地にして、シベリアの大部を成し、低平なる原野多し。

(ロ) 中央アジア。アルタイ山系と東方に走れるヒマラヤ山系との間は中央アジアの高原にして、ゴビ沙漠は北部、西藏高原は南部にありて、中間に塔里木河の低地を挾む。

パミル高原は世界屋脊の通稱あり

(ハ) 東部アジア。本邦・朝鮮・支那の大部を含み、山地多きも、中央に支那北部の大平原あり。
(ニ) 南部アジア。南西に走れるスリヤン山系以東、ヒマラヤ山系以南を含み、南部にデカン高原及び印度大平原あり。
(ホ) 西部アジア。スリヤン山脈以西ヒンヅークシ山脈以南の地方は地勢多くは高原にして、イラン・アラビアの兩高原及びメソポタミアの平原あり。

四、水系。

諸大河の水源は中部の高地にありて、河流は縁邊の山脈を横断し、四方に向へること、内地流域甚だ廣くして、大なる内陸河多きこと、大なる雙子河と鹹湖とに富めることはアジア水系の特色なり。

沿海流域を有する大河には、北極洋斜面にオプ・イエニセイ、
 レナ、大平洋斜面に黒龍江、黄河、揚子江、珠江、印度洋斜面にサ
 レン、
 ルウ、
 ラブあり。

内地流域を有する大河にはカスピ海に入るウラル、アラ
 ル海に入るシル・アム、バルハシ湖に入る伊犁、羅布泊に入る
 塔里木あり。これ等の湖は何れも鹹湖なり、就中カスピ海
 は其の面積世界第一にして、其の水面は地中海の水面以下
 にあり。鹹湖は其の以東に多く、往古内海の遺跡にして、現
 今内地流域の中に位し、前記の内陸河皆これに入る。又西
 方の死海は其の水面世界第一の窪地であり。
 雙子河を成せる大河はオプとイエニセイ、黄河と揚子江、ガ

ンガとブラマプトラ、チギリスとエウフラト、シルとアムこ
 れなり。チギリスとエウフラトの合流せるものをシャトエ
 ルアラブと云ふ。

淡水湖にはシベリアのバイカル湖稍大なれども、到底北
 アメリカ及びアフリカの諸大湖に及ばず、唯其の最も深き
 所は四千五百餘尺に達し、世界第一と稱せらる。

五、氣候。

境域寒温熱三帯に亘り、地勢の高低一ならざれば、氣候の
 變化に富み、北部には地球上最寒の地、南部には比類少き熱
 地を有し、中央アジアの大部は無雨乾燥の大沙漠なるに、印
 度の一部には世界最多の雨量あり。東部及び南部アジア
 は季節風の影響を受け、東部アジアは大風の衝に當れるを

以て名高し。

六、天産。

地勢の變化に富み、氣候多様なれば、天産亦た甚だ多し。北部アジアの凍土帯は殆んど不毛の地多く、中央及び西部アジアの大部は草原と沙漠とより成れども、季節風を受け雨量に富める南部及び東部アジアは、植物界の天産甚だ多く、米の特産の外、日清の茶及び桑、南東部の香料、印度の藍綿、阿片等、其の名世に高し。動物には北部の馴鹿、極熊及び熊種の毛皮獸、南部の虎、豹、象及び大蛇の外、中央アジアには羊及び駱駝甚だ多し。鑛物には北部の金、東部の石炭、南部の寶石等皆名あり。

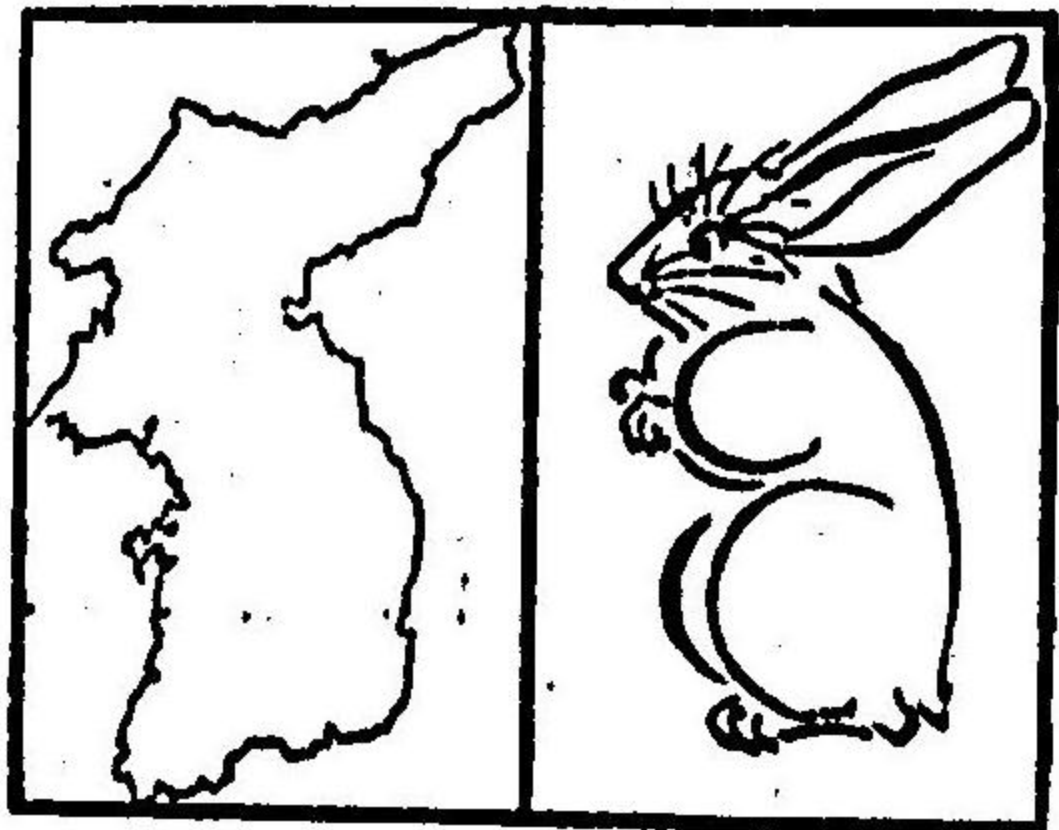
七、概説。

アジアは世界第一の高山を有す。
アジアは世界第一の高原を有す。
アジアは世界第一の平原を有す。
アジアは世界第一の半島を有す。
最暖の海水あり(紅海)。
最大の鹹湖あり(カスピ海)。
最低の窪地あり(死海沿岸)。
熱の赤道はアジア南西部を通過す。
世界寒極の一は北部アジアにあり。
地球上最大なる無雨區域は中央アジアにあり。
地球上雨量最多の地は南部アジアにあり。
アジアは地文地理上大陸中の大陸なり。

第二章 韓國

一、地文地理

(イ) 境域。韓國は又これを朝鮮と通稱す。東部アジアの一半島國にして、我が國の西方に當り、全體の輪廓は、恰も兎の遼東半島に向て飛ばんとするに似たり、(恩師小藤博士による)。



韓國輪廓の譬喩

東は日本海、西は黃海、南は朝鮮海峽に臨み、北は鴨綠江、長白山脈及び圖們江の一部を以て、滿洲及びシベリヤに接す。面積凡そ一萬三千方里、我が本州より少しく小なり。

(ロ) 沿岸。東岸は出入に乏しけれども、西岸及び南岸は島嶼、港灣極めて多く、南西部には朝鮮多島海の稱あり。西岸は湖の升降差最も大にして、漢江の河口に於ては三十三尺に達し、東洋第一に位す。

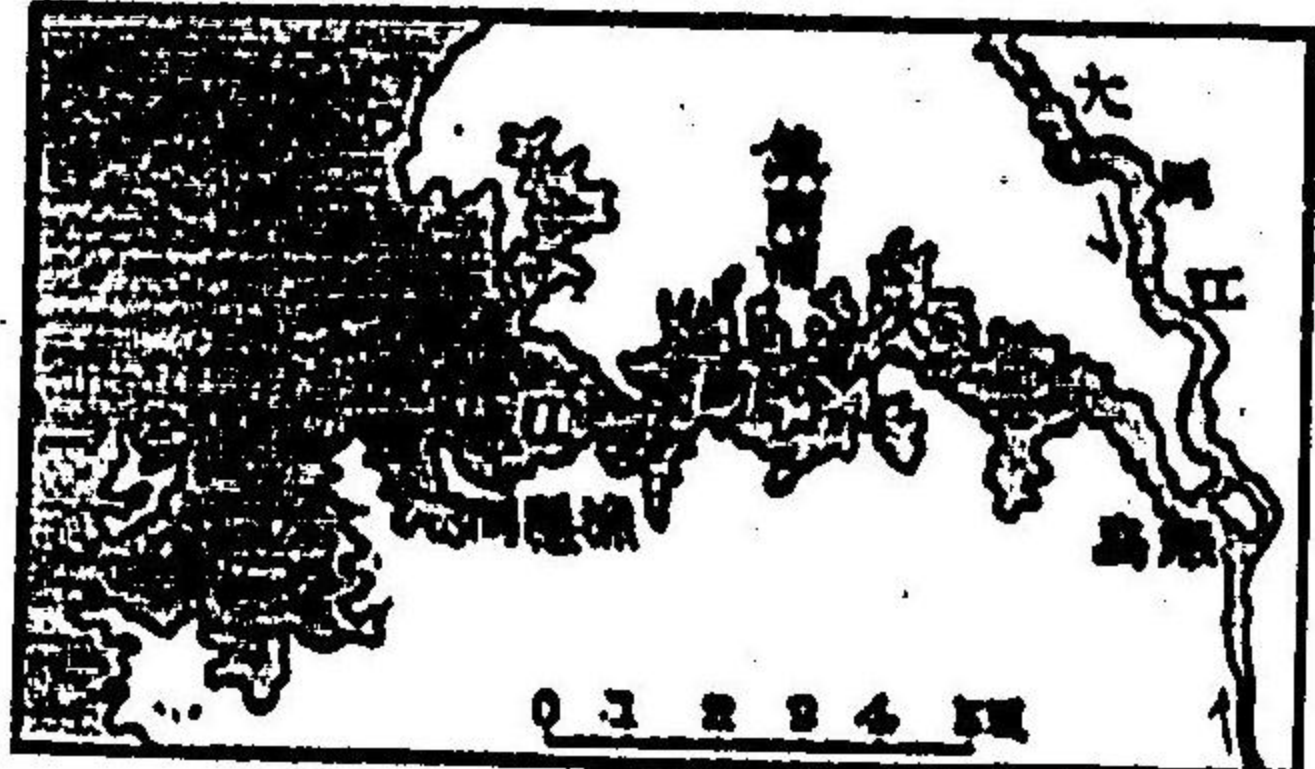
(ハ) 地勢。不咸山脈(長白山脈)南西より北東に走りて、國の北境を限り、最高點白頭山は畧ぼ境上に位す。國の北部に



國中到處山多し

朝鮮多島海の一部の地勢は東方に峻、西方に緩かなり。南北に並走せる數多の山列あり、其の主軸は東側に偏し、隨て南

(二)水系。地勢斯くの如きが故に、大河は北部に於ては兩側にこれを見るも、南部には東側に少く、西側に多し。要するに面積に比しては大河に富み、圖們江、洛東江、錦江、漢江、大同江、鴨綠江は朝鮮の六大江と稱せらる。



大 同 江 の 河 口

(ホ)氣候。一般に大陸氣候にして、冬季は河水氷結すれども、南部は稍溫和なり。冬季は三寒四暖と稱する氣候の變換と、濇突と稱する暖房の法とにより、稍凌ぎ

易し。

(ヘ)天産。穀物能く登り、特に南部は米大豆の産に富む。又茶を欠ぐも、人參の特産あり。動物には虎豹多く、鶴も亦た

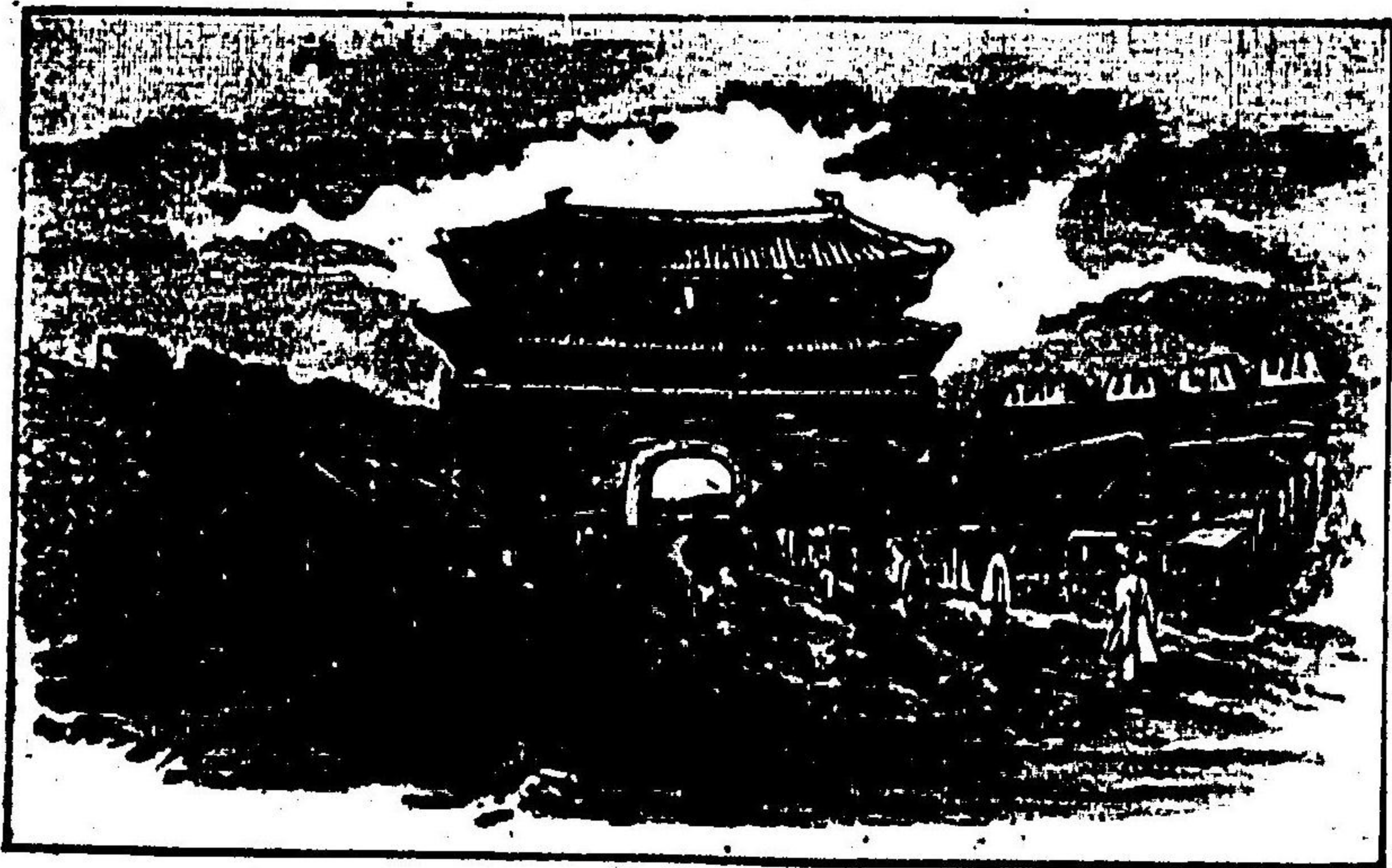
稀れならず。鑛物には金最も名あり。

二、地方誌。

(イ)區劃。此の國は行政上もと八道に分ちしが、今は左の十三道に分つ。

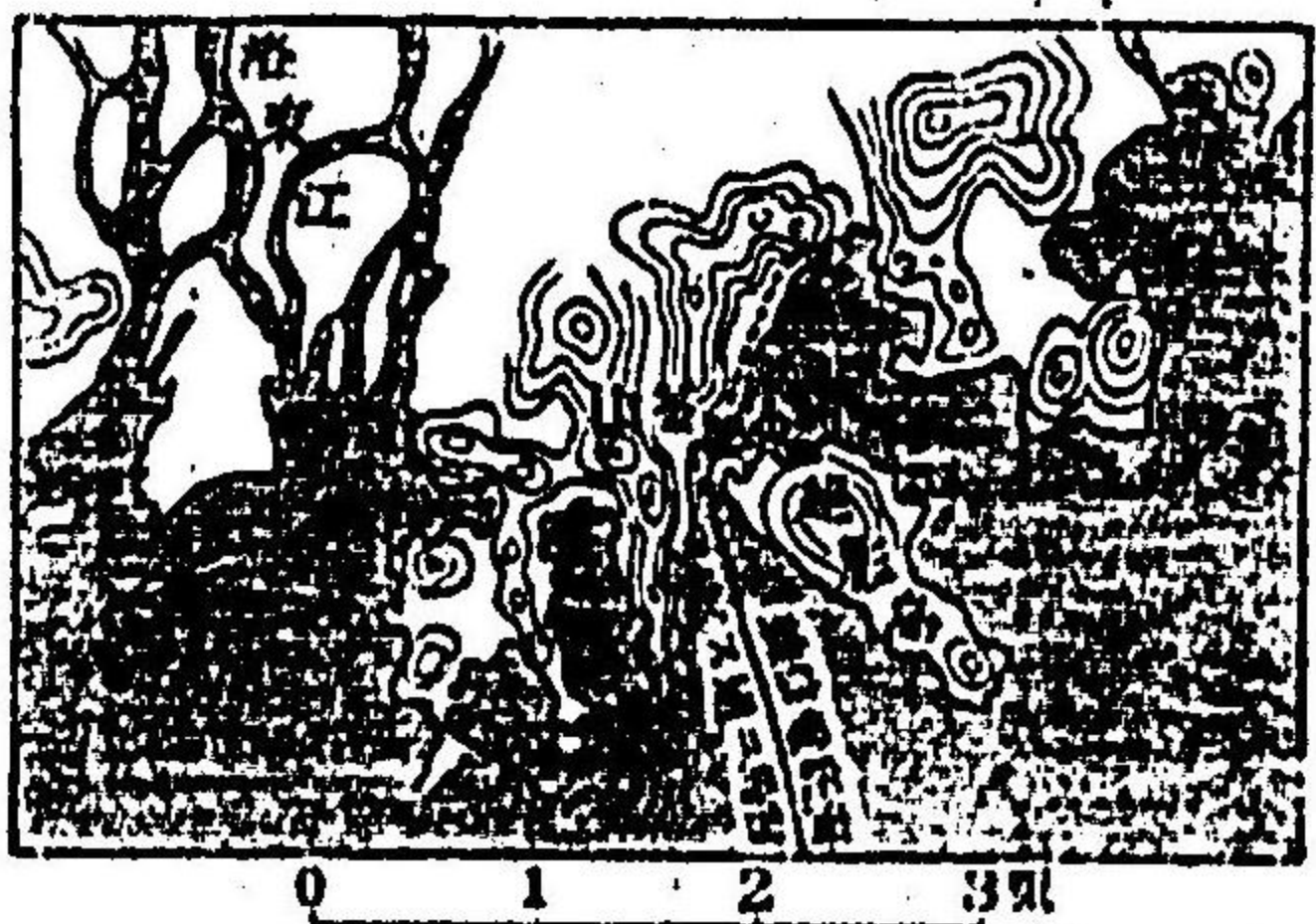
- 京畿道 江原道 忠清北道 忠清南道 全羅北道
- 全羅南道 慶尙北道 慶尙南道 咸鏡北道 咸鏡南道
- 平安北道 平安南道 黃海道

(ロ)中部(京畿、黃海、江原)。首府京城ソウルは本名を漢城と稱す、周圍は繞ぐらすに城壁を以てし、市内には電氣鐵道を通じ、我が居留地には公使館及び領事館の設けあり。濟物浦仁川 Chinhaeは月尾島其の前に横はり、京城の咽喉、韓國第一の開港場にして、金、米、生牛皮を輸出す。



京城南大門

(ハ)南部(忠清全羅慶尙)これ等の地方は三南と稱せられ、農産甚だ豊かにして、島嶼、港灣頗ぶる多く、軍事上外交上極めて大切なる位置を占め、群山浦、木浦、馬山浦、釜山浦の開港場、南海、巨濟、濟州、巨文等の島嶼あり、
 Hamilton 馬山浦は朝鮮海峽及び韓國內部に對し、最も重要な位置を占む、釜山浦は韓國の南東岸に位し、絶影島前に



横はる。其の位置我が國に最も近く、居留人甚だ多くして、純然たる本邦市街を成す。蔚山は同名の灣頭に位し、豊公征韓の役に名高し、

(ニ)北部(咸鏡平安)元山津は永興灣の中に位し、砂金の輸出盛んにして、東岸に於ける良港なり。

平安道平壤は大同江の沿岸にあり、豊公征韓の役及び日清戦役に其の名甚だ高し。義州は鴨綠江の東岸に位し、滿洲に入る要點を占む。

三、人文地理。

(イ)住民。人口凡そ一千萬内外、我が國よりも密度甚だ小

にして、特に人口減少の傾向あり。人種は蒙古人種の一
 支にして、我が大和種族に似たり。上流の人は漢文を用ひ、他
 は諺文を用ふ。門閥の別嚴にして、奴隸の制尙ほ存す。教
 育は舊時の様に安んじ、上流は孔孟の教を口にすも、一般
 に妖教行はる。衣服は上衣と袴とより成り、通常藁履を穿
 ち、竹冠を戴く。
 又厚葬の弊習に
 國より、墓地の地積
 大なるを以て、鐵
 道の敷設、鑛山の



採掘等、利源の開発に故障少からず。

(ロ)政治。政體は君主專制なり、中央政府は内外度支軍法

學農商工の七部衙門より成り、各衙門に大臣を置く。各道
 には觀察使を置くも、中央政府の命令十分に行はれず。人
 民の赤貧なるは重もに地方官の收賄及び聚斂による。兵
 制未だ整はず、財政常に困難を極む。貨幣には舊韓錢及び
 新銀貨、白銅貨あれども、最も流通するは我が銀貨及び紙幣
 なり。古昔より我が國との關係最も密にして、現今我が國
 は公使館を京城に、領事館を京城及び各開港場に置く。
 (ハ)生業。北部を除く外、林産至て少し。又日本海沿岸の
 漁利は我が國人悉くこれを收む。農産は甚だ豊かにして、
 米・大豆・人參を重もなるものとす。金礦に富み、近時各國爭
 ひて採掘の權を得たり。
 外國貿易は重もに我が國とこれを行ひ、重もなる輸出品

は米・大豆・生牛皮にして、輸出入額未だ多からず。仁川・釜山・元山は重もなる開港場なり。

(二)交通。國內の道路は至て不完全なり、重もなる道路には常に一種の一里塚を見る。大河多けれども、未だ十分に利用せられず。近時に至り交通少しく面目を改め、京仁鐵道は既に成り、京釜鐵道は着手中にして、何づれも我が國人の經營に係る。重もなる開港場と我が國北清及びウラジオストックとの航路は、日本郵船・大阪商船兩株式會社これを營む。又陸上及び海底電線によりて、我が國清國其他諸外國に通信し得べく、國內通信の手段として舊時より烽火の設けあり。近時國內に郵便の事業を開きしも、未だ盛んならず、而して我が國の技師を聘して、燈臺の建設に着手せ

るは、特筆すべきことなり。

第三章 清國

China

第一節 地文地理

一、境域。

清國は又これを支那と通稱す。北及び西はロシア領アジア、南はフランス領及びイギリス領印度、東はシベリア及び韓國に境し、又黃海及び東海に臨む。面積凡そ七十一萬方里、我が國の二十六倍あり。

二、沿岸。

海岸線は凡そ千里を超えず、これを國土の廣大なるに比すれば、割合に短しとす。北より畧記すれば、遼東・山東の二

半島は直隸海峡を挟みて、渤海の門戸を成し、渤海の内部は遼東直隸の二大灣を成せる外、出入に乏し。黄海の沿岸には北部に旅順口・大連灣・威海衛・膠州灣あり。膠州灣以南は概ね一帯の砂濱なり。東海の沿岸は出入多く、港灣・島嶼に富み、揚子江口の崇明島・杭州灣の東方なる舟山列島・廈門灣の廈門島及び寧波・温州・福州・廈門等の開港場あり。支那海の沿岸も出入に富み、島嶼多し、又雷州半島南に突出し、瓊州海峡を隔て、瓊州島・海南島に對し、トンキン灣の北東を限る。

三、地勢。

清國の地勢はこれを二つに分ちて説くを便とす。

(イ) 中央アジアの地勢。廣大なる高原の性を具へ、數多の

山系皆パミル高原より起りて、多く東西に連亘す。最も南にあるものはヒマラヤ山系にして、其の北に西藏高原、又其の北に崑崙山系あり。これより北すれば、塔里木河流域の低地に降り、其の北には天山山系あり、其の北は再びジュンガリア低地となる。

崑崙山系は東に延びて、數多の山脈を起し、興安嶺に連り、南北に走り、以て滿洲及び蒙古の境界を成す。

中部蒙古にてはゴビの沙漠、羅布湖の近傍より起り、興安嶺に至り、其の高度約三千尺なり。

(ロ) 東部アジアの地勢。揚子江の南北に連亘するものを南嶺及び北嶺とす。南嶺の西部には南北に走れる河谷多くして、南部アジアに入れる諸大河の上流、其の間を流下す。

黄河の下流揚子江沿岸及び滿洲の一部には平地少からず。

四、水系。

清國の水系はこれを分て三つとなし得べし。

甲、内地流域を有するものには、塔里木及び伊犁の二河、羅

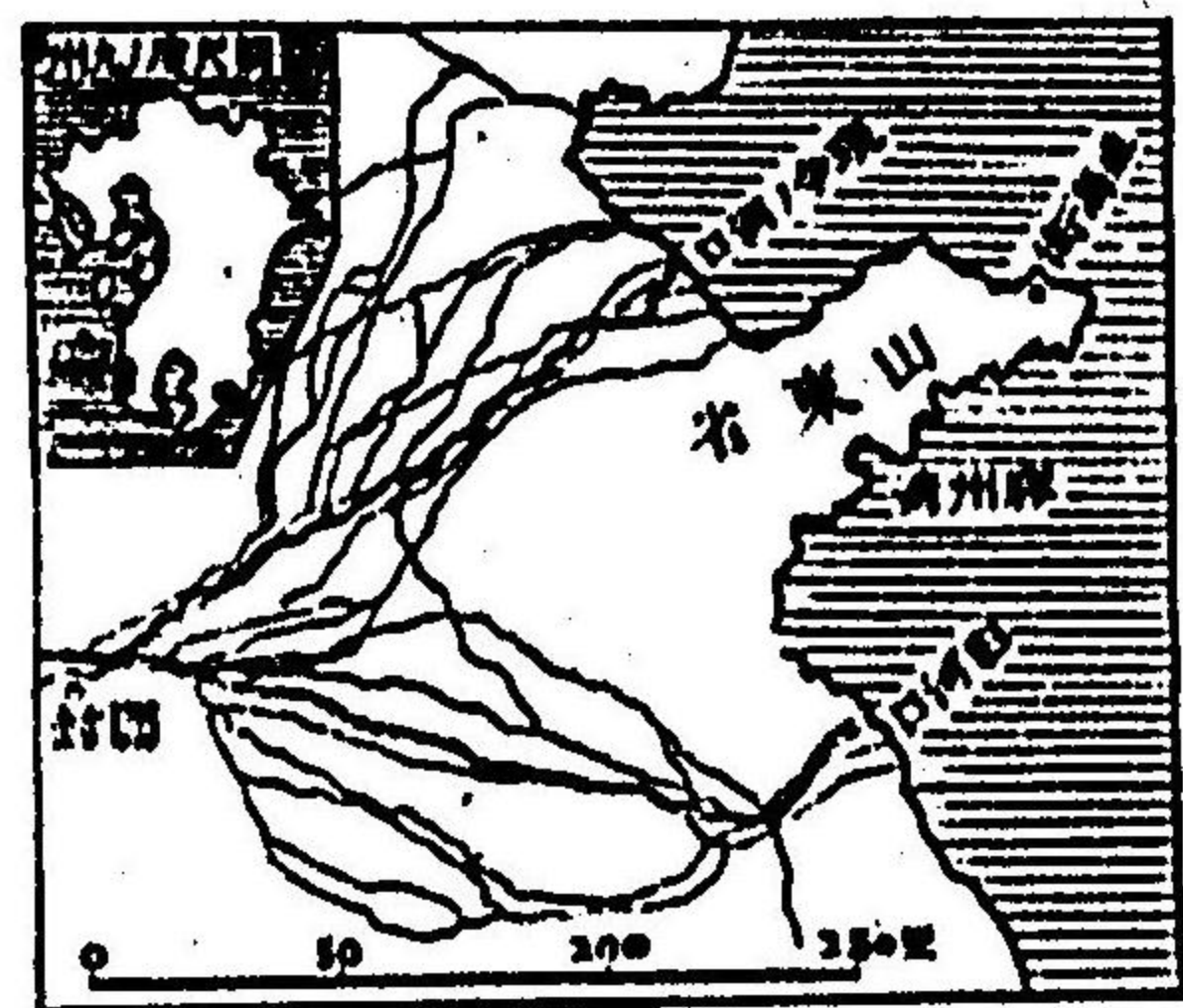
布泊青海及び西藏の諸湖其の著名なるものなり。

乙、沿海流域を有するものは、大平洋斜面にのみ大河頗ぶ

る多し。今左に其の重なるものを擧ぐべし。

(イ) 黄河は單にこれを河と稱し、其の水黄土を含みて常に黃濁なり、流れ急にして、河道の變遷甚しく、水害古より絶ゆることなし。

(ロ) 揚子江



黄河河道の變遷

源を崑崙山に發し揚子江と共に成す

は單にこれを江と稱し、又長江或は大江と稱す、長さ凡そ一千三百里、世界第三、東大陸第一の大河にして、宜昌以下數百里の間大汽船を通じ、沿岸開港場の數も甚だ多く、下流は運河縱横に通じ、河口には崇明島横はる。大支流頗ぶる多く、漢江最も大なり。又洞庭及び鄱陽の二湖は江に通じ、其の水量を調整す。(ハ) 珠江は南清の大河なり、一にこれを廣東河と稱す、東江、北江、西江より成り、西江最も大なり。三角江及び三角洲共に大にして、沿岸に開港場多し。

其の他南清に閩江、北清に白河、滿洲の北境に黑龍江、其の支流に松花江及び烏蘇里江あり。

五、氣候。

南部の沿岸は溫和にして、季節風の爲めに雨量多きも、夏

季大風の害を被る。北部は大陸性にして、沿岸多くは氷結す。西藏及び蒙古は大陸氣候を有し、雨量極めて少く、其の沙漠地には旋風屢起る。又極南部の氣候は熱帶性を帯び、雨量は初夏に多し。

第二節 地方誌

一、區劃。

行政上全土を分て直省及び藩部とし、更らにこれを左の如く細別す。

支那本部(十八省)

直省(滿洲(東三省)

新疆省(伊犁)

蒙古

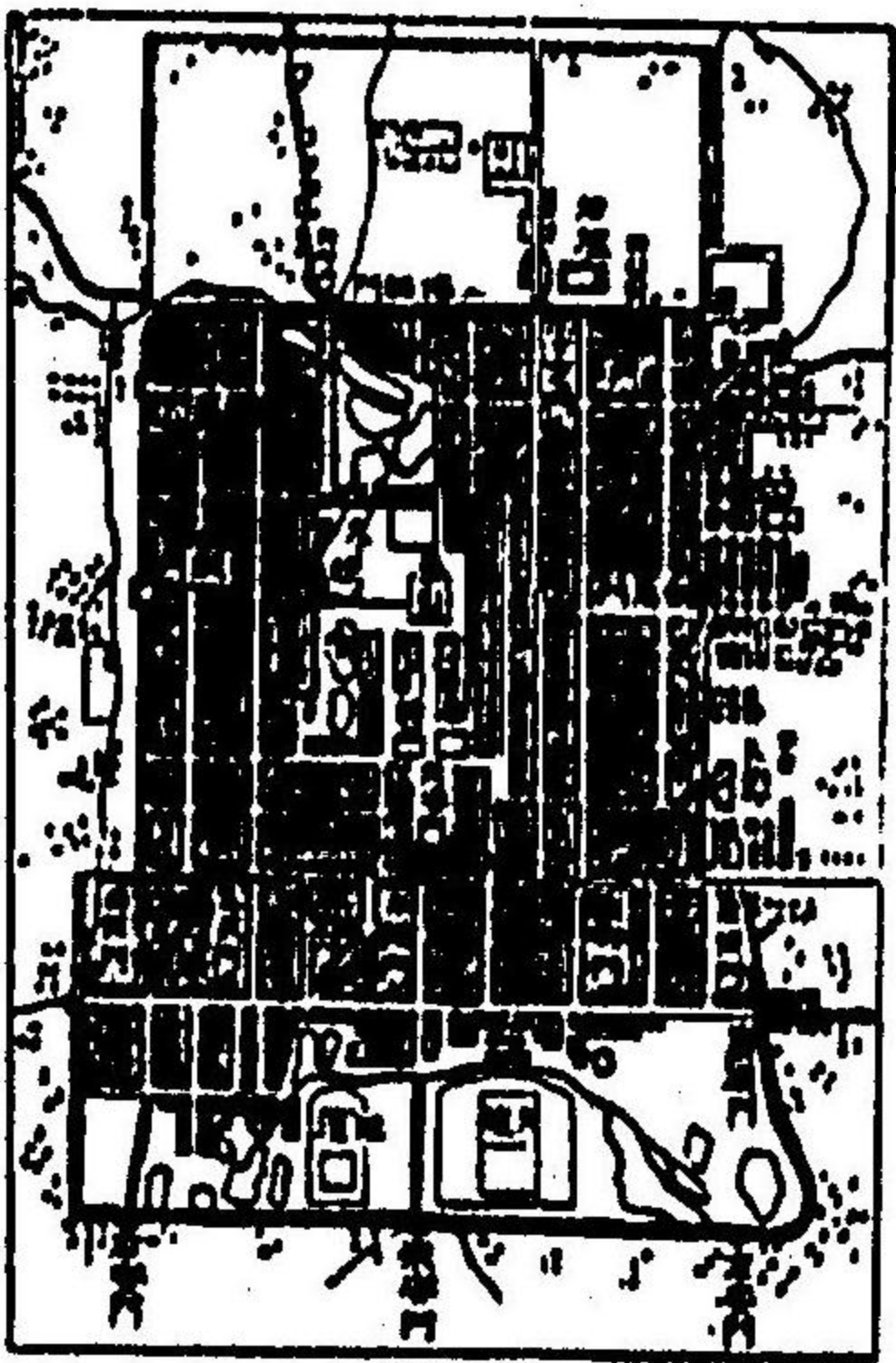
藩部(青海

西藏

二、支那本部。

China Proper

白河の河口に近き大沽の砲臺は北清の變に破れたり



北京市街

直隸省の北京(順天府)は現今清朝の國都にして、市街を圍らすに城廓を以てし、廓内を内外二城に分つ、内城には皇城

諸官衙各國公使館等あり、外城は商業の繁盛内城を凌ぐ。人口凡そ百六十萬。天津は北京の咽喉、北清貿易の中心、直隸總督の駐

在地にして、白河の岸に位し、冬季は河水氷結し、航路全く杜絶す。日本郵船株式會社の航路に當り、本邦在留人甚だ多く、本邦總領事館あり。近時白河の填塞により、其の浚渫を見るまでは、大船此の地に達すること能はざるに至れり。

山東省の芝罘(烟臺)は開港場にして、日本郵船株式會社の

Shanghai China

航路に當り、其の氣候は北清中最も溫和なりと稱せらる。
 山西省は直隸省の西にあり、首府を太原府と云ふ。河南省
 の首府開封府は黄河の南岸に位し、古來屢黄河の害を被れ
 り。陝西省の首府西安府は渭水の南にあり、古の長安にし
 て、名所舊跡甚だ多し。甘肅省の蘭州府は同省の首府にし
 て、陝甘總督の駐在地なり。

江蘇省の蘇州府は本省の首府、春秋時代吳の故都にして、
 大運河に沿ひ、絹布の産に富む。江寧府は兩江總督の駐在
 地にして、揚子江の南岸にあり、市街の規模宏大にして、世に
 これを南京と通稱す。上海は吳淞江(黃浦江)の岸にあり、人
 口凡そ四十萬、清國第一の開港場にして、近傍の吳淞へ鐵道
 を通ず。外國人の居留地(租界)は清潔にして、在留本邦人甚

江寧にはも
 と有名なる
 大報恩寺の
 磚塔ありき



上海

だ多く、日本郵船株式會社の
 航路に當り、本邦總領事館横
 濱正金銀行支店等あり。鎮
 江府は江寧府の東方、長江の
 南岸、大運河との會合點に當
 れる開港場にして、貿易甚だ
 盛んなり。

安徽省の首府安慶府は揚
 子江の左岸にあり。

江西省の九江は鄱陽湖の
 湖脚にある開港場にして、附
 近陶器の産全國に冠たり。

浙江省の杭州府は本省の首府にして、同名の灣頭にあり、浙江に臨み、市街の麗、風景の美、海嘯津浪に非らずの壯觀を以て其の名世に高く、絹布の産に富む。寧波は昔時我が遺唐使の至りし所、温州は蜜柑の産地にして、共に現今の開港場なり。

臺灣福州間の海底電線は我が國の有なり

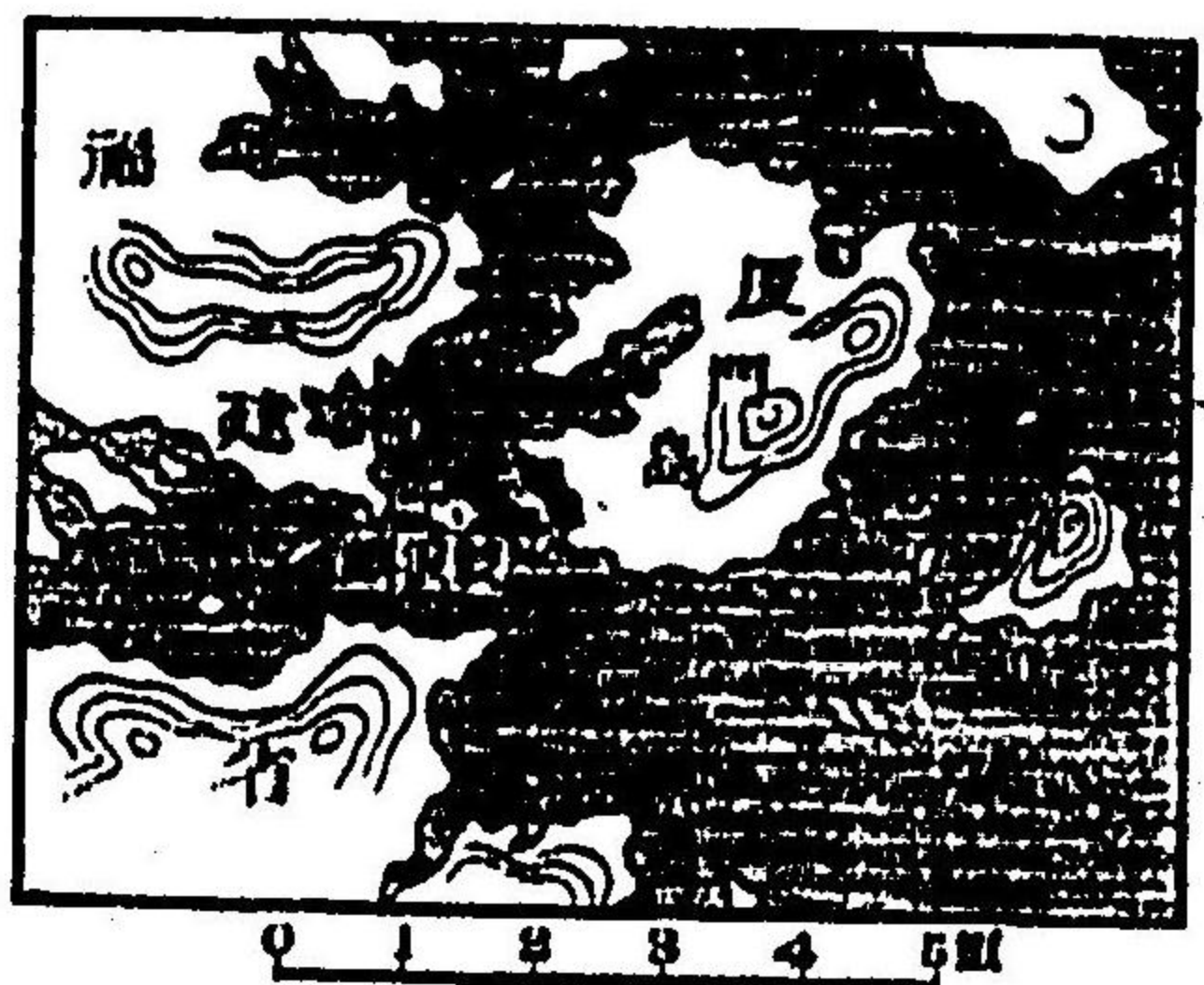
福建省の福州府は本省の首府にして、閩江の下流にあり、人口凡そ百萬、貿易隆盛、福建水師の根據地、閩浙總督の駐在地にして、近傍に馬尾船政局あり。

廈門は廈門島、鼓浪嶼等の諸島によりて良港を成し、臺灣に對して大切なる位置を占め、在留本邦人甚だ多く、淡水との間汽船及び支那形船の往來甚だ頻繁なり。

人民河上に舟居するも甚だ多し

廣東省の廣州府は珠江の河口に位し、世にこれを廣東と

武昌・漢口・漢陽は相對して共に一大都府の狀を成す



厦門

通稱す。廣東省の首府、兩廣總督の駐在地、廣東水師の根據地にして、人口凡そ二百萬、世界第四の都會なり。廣西省の桂林府は本省の首府なり。本省の山間には苗、瑶等の蕃人多し。湖北省の武昌府は本省の首府、湖廣總督の駐在地にして、赤壁の故戦場は此の附近にあり。漢口は漢江の口に位し、清國內地商業の中心にして、人口凡そ八十萬、茶を重要な輸出品とす。沙市は長江の航路に當り、宜昌は長江汽船航路の終點に位し、四川省に入る門口に當る。湖南省の岳州府は洞庭湖脚にあり、近時の開港場なり。

宜昌は上海を距ること凡そ一千哩

四川省は古の蜀の地なり、巫山の峽、蜀の棧道ありて、自から別天地を成す。成都府は本省の首府、四川總督の駐在地に於て、市街の壯麗、清國第一と稱せらる。重慶府は揚子江の支流嘉陵江の口に位し、商業盛大なり。

貴州省は苗、瑤等の蕃人多く、氣候不良なり、首府を貴陽府と云ふ。雲南省の雲南府は本省の首府にして、雲貴總督の駐在地なり。

三、滿洲(東三省)

長白山脈は東部に連り、遼河及び松花江は内部を貫き、鴨綠江、烏蘇里江及び黒龍江は境上を流る。氣候は大陸性にして、物産には金、獸皮、大豆、高粱等あり。

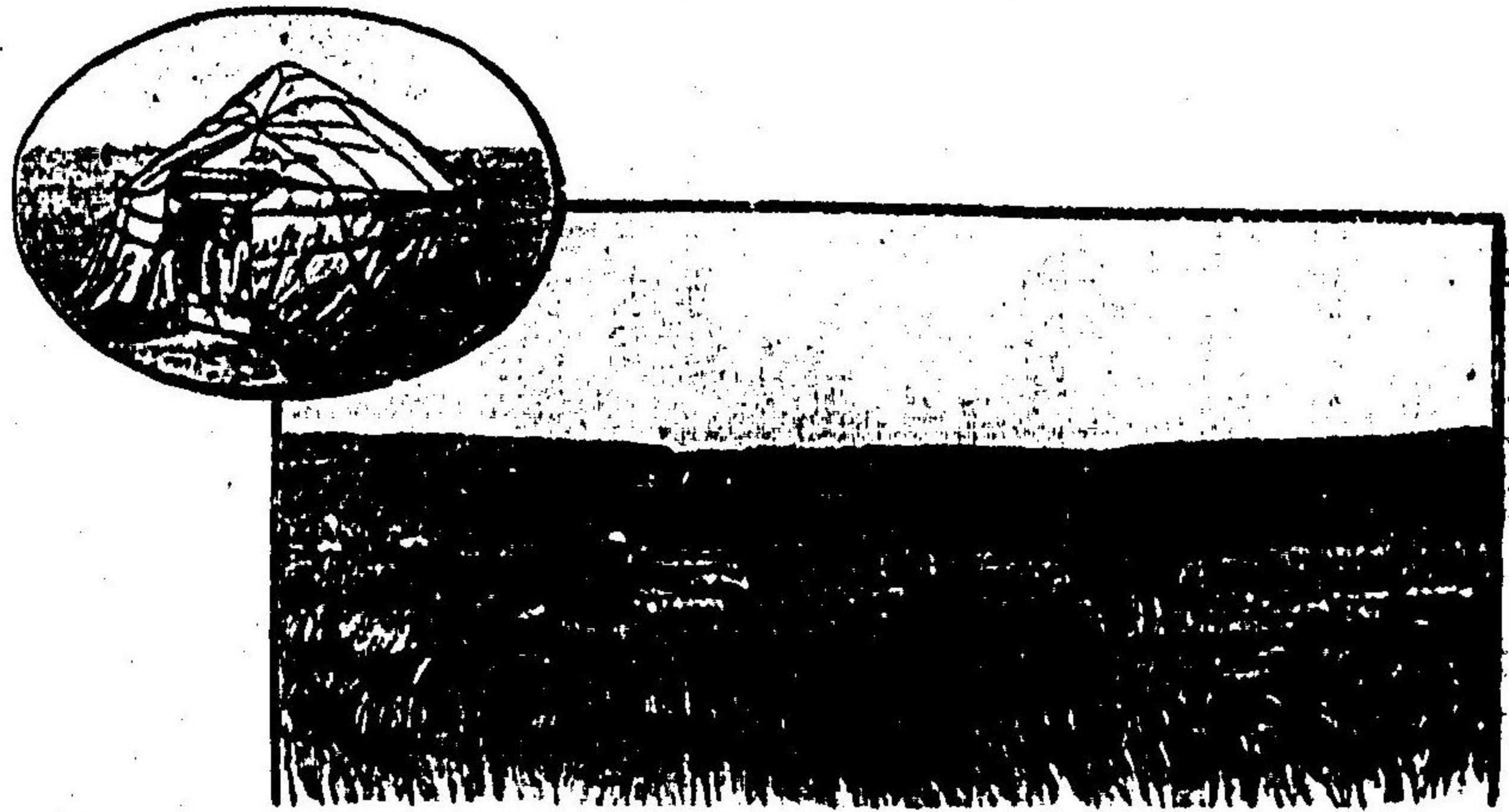
奉天(盛京)省の首府奉天府(盛京)は東三省政治上の中心な

滿洲は清朝開基の故地に於て、又日清戰役の遺跡多し



滿洲の兵卒

り、牛莊は遼河の左岸にありて、其の港を營口と云ふ。吉林省の吉林府は松花江の岸に位し、本省の首府にして、吉林將軍の駐在地なり。黒龍江省の齊々哈爾城は本省の首府にして、黒龍江將軍の駐在地なり。ベリア鐵道東清線の要點なり。



蒙古の沙漠

四、蒙古

Mongolia

清國の北部を占め、北はシベリアに境し、南は略ぼ萬里の長城によりて、支那本部に接す。戈壁の沙漠は全土を内外の二部に分つ。

蒙古人は遊牧を業とし、騎馬に長じ、喇嘛教を信ず。清國政府は要地に將軍、都統、大臣を置きて、これを統御す。

庫倫ウルガ *Urga* は外蒙古北部の

中心にして、壯嚴なる喇嘛教の

殿堂あり。買賣城はロシア領のキヤフタに連れる陸路貿易場にして、茶の取引頗ぶる盛んなり。

五、新疆省

Sinkiang

新疆省は支那全國の西部を占め、古の西域にして、一にこれを伊犁と稱す。天山山系城内を横斷して、天山北路ジンガルと、天山南路東或は支那トルキスタンの二部に分つ。

天山北路は伊犁河の流域にして、其の地味概ね肥沃、天山南路は塔里木河の流域にして、大部は沙漠なり。人民多くはトルコ種に屬し、回教を信ず。

迪化府烏魯木齊 *Dihua* は交通の要路に當り、新疆巡撫の駐在地

なり。伊犁府は一にクルジヤと稱す、伊犁將軍の駐在地なり。

六、青海

Koko-nor

北京を距ること一千四百里

青海地方は支那帝國全土の中央を占め、地勢峻峻、人口稀少、東隅に同名の大湖あり。住民は牦牛を飼養す。

七、西藏。

北は崑崙山系を以て、新疆省及び青海に境し、南はヒマラヤ山系を以て印度に接す。世界第一の高原にして、高度平均一萬二千尺あり、諸大河の水源地を成す。國中無口の湖水多し。

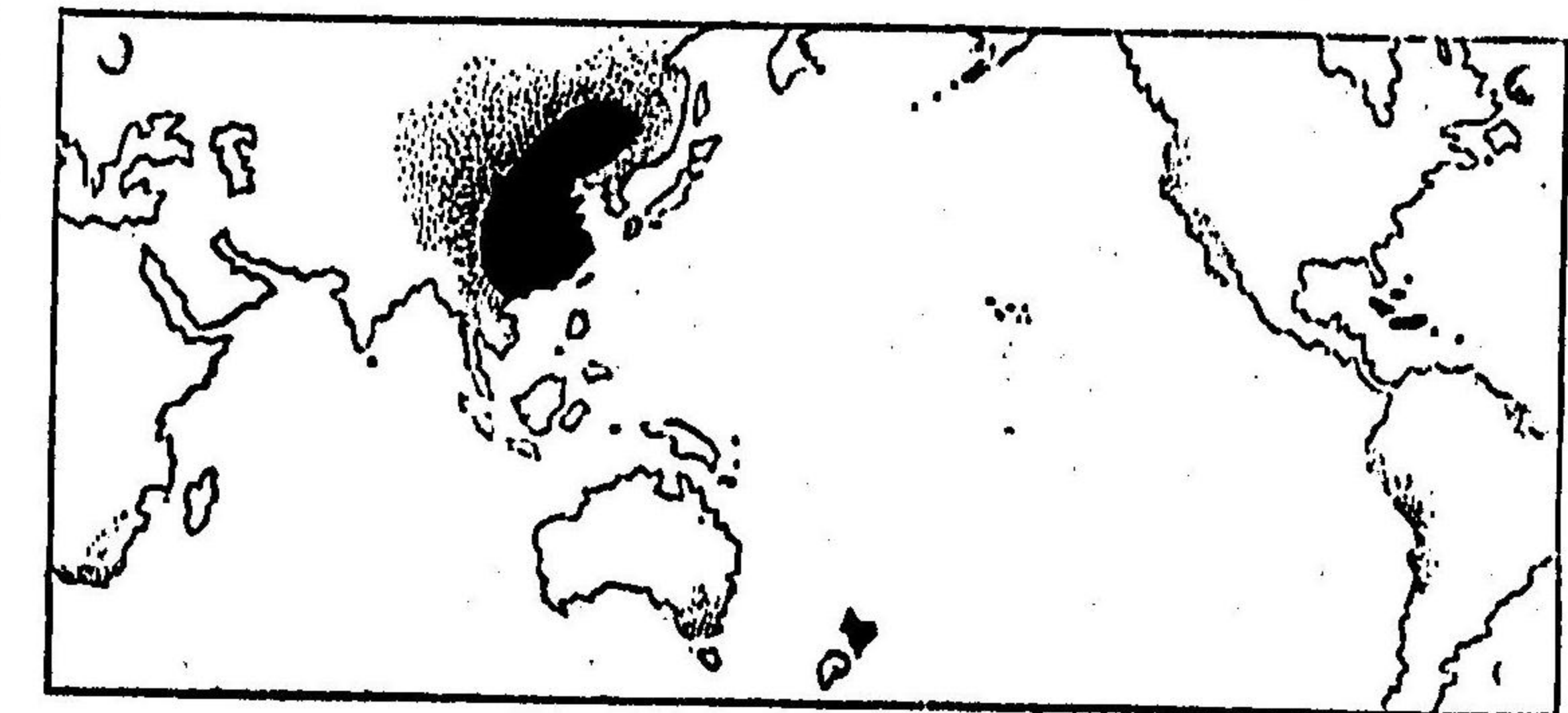
氣候は寒暑共に甚し。北京政府の指揮監督を受くれども、内政は全く拉薩に住する喇嘛教王の自治に任じ、鎖國して外國人を入れず。

拉薩は北京を距ること千八百里

第三節 人文地理

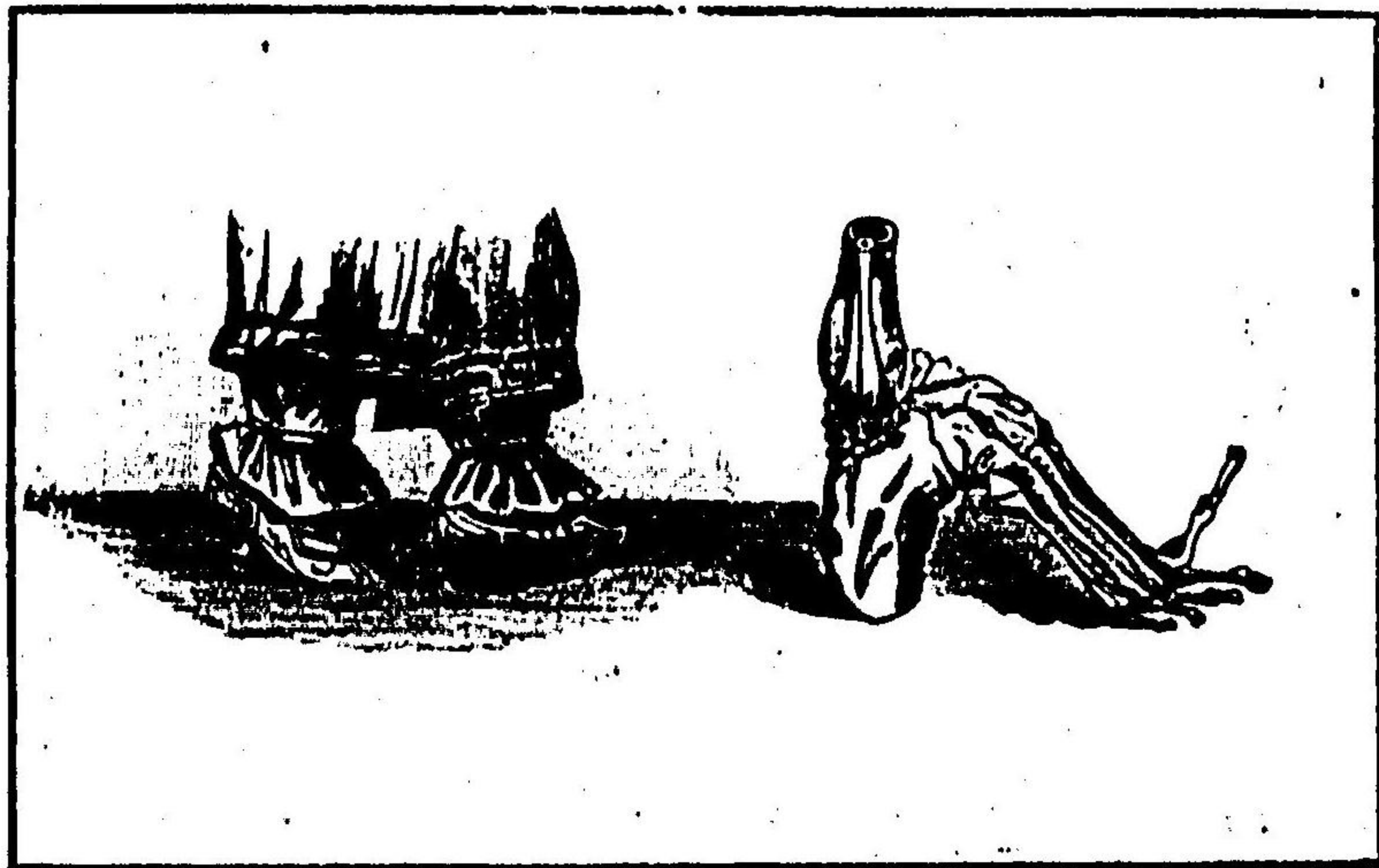
一、住民。

人口凡そ四億三千万、世界人口の殆んど四分の一を占む。



支那人の分布

西部には無人の境あれども、支那本部は人口の密度甚だ大なり、随て海外移住は甚だ盛んにして、殆んど全世界に亘り、アメリカ合衆國、オーストラリア等に於ては、清國人の移住に制限を加ふるに至れり。重なる人種四あり、漢種、ツングース種、滿洲に多し、トルコ種、新疆に多し、蒙古種、西藏種、苗種、南部に多し、これなり。言語の重なるものを漢語、滿洲語、蒙古語、トルコ語の四種とす。漢語



脚足と竹の形

は方言甚だ多く、其の上流
社會一般に通ずるものを
官話と云ふ。
最も多數を占むる漢人
及び滿洲人は、儉に非ざれ
ば吝にして、舊慣を脱せず、
商機に敏にして、團結強け
れども、忠君愛國の志を缺
ぐ。食物は脂肪多きを好
み、常に豚を用ふ、生水を飲
まず、煮ざるものを食せざ
るは、良習なれども、阿片喫

近時我が國
に多數の留
學生を派遣
せり

烟と女子纏足とは其の二大弊なり。纏足の制清朝より始
まり、厚葬の風古より存し、又漢人は字を書せる紙を大切に
して、苟くも遺棄することなし。

教育は近時大に改良進歩の計畫ありと雖も、其の功績未
だ著しからざるが如し。宗教は一ならざれども、儒道佛最
も行はれ、蒙古及び西藏には喇嘛教専ら行はる。

二、政治。

此の國の政體は君主專制なれども、大清會典に則りて政
治を行ひ、要路の大官には必ず滿洲人、漢人を併せ用ふ、政治
機關は帝室部、中央部及び地方部の三部より成る。中央部
には内閣あれども、實權は辨理軍機處にあり、内閣の次ぎに
吏部、禮部、兵部、刑部、工部の六部ありしが、今は別に海軍部及び外部の

二衙門を置く。地方部は二十二省の中、東三省を除き、多くは一省或は二三省に總督を置き、又多くは各省に巡撫を置く。

兵備は陸軍に八旗綠旗勇の三種あり、八旗及び綠旗より選拔せる練軍あり、其の一部は新式の訓練を經、新式の兵器を有す。海軍は日清戰役に於て、最も優勢なる北洋水師全滅せしが、現今次第に復舊の準備に着手せり。

此の國は舊時より我が國と交通し、本邦條約國中最も密接なる關係を有す。其の沿岸の要地は、他國の占有に歸し、開港場に於ける各國居留地は、事實上清國の治外に立てり、而して義和團の内亂以後、滿洲は一時ロシアの勢力範圍にありき。

我が國は公使館を北京に、總領事館を上海・天津に、領事館を牛莊・芝罘・重慶・沙市・漢口・蘇州・杭州・廈門・福州に置き、上海總領事館の分館を南京に置く。

萬里の長城は大運河と共に支那の二大工事と稱せらる。西は甘肅省の嘉峪關に起り、東は直隸省の山海關に至り、全長凡そ八百里、もと匈奴の侵入に備へしものなり。

三、産業。

南部は米、北部は麥・大豆を産し、阿片・蠶絲・茶・綿の産も亦た多し。牧畜は盛んにして、騾及び驢は北部に、駱駝・綿羊・山羊は蒙古に、豚は到る所にこれを養ふ。礦物には鐵及び石炭の非常なる量あり、又東洋特有の玉は崑崙山系より出づ。絹織物及び陶器の製造は南部に盛んなり、製鐵・造船・紡績の

南京
支那
南京
織子
綉子
燒子

工業も次第に盛んにして、漢陽の製鐵所、馬尾の船政局、上海の織布局等最も名あり。食鹽は政府の專賣に係る。厘金税の制は商業發達の障害をなししが、近時各國と締結せる通商條約により、此の制度は漸次廢止せらるべしと云ふ。

外國貿易上全國の中心は上海、内地にありては漢口、北清にては天津にして、漢口、福州、廣東等これに次ぐ。最も重要な輸出品は生絲及び茶にして、最も重要な輸入品は金、巾及び阿片なり。我が國との貿易も、近來盛大となり、我が國は米、大豆、綿、肥料等を輸入し、綿織絲、水産物、銅、マツチ等を輸出す。

四、交通。

南部には揚子江、珠江の如き大河あり、特に揚子江は水利

南船北馬

大運河は填塞して水利至て少なし

は至大にして、上海より漢口を経て宜昌に至るまで、日清及びイギリス、ドイツの汽船往來し、我が大阪商船株式會社此の航路を營業す。

沿海の航通も亦た盛んにして、多くは外國人の經營に係り、支那人の營めるは招商局を以て重なるものとす。我が日本郵船株式會社は舊時よりこれに従事し、近時大阪商船株式會社も南清航路を開始せり。

清國內地の交通上特に注意すべきは、鐵道、近來の發達なりとす。北京より天津附近を過ぎ、開平炭坑を経て山海關に達するものは、延びてシベリア鐵道の南部滿洲線に連絡す。南部滿洲線はシベリア鐵道東清線の一支部にして、奉天府を經、大連灣及び旅順口に達するものなり。北京より

保定に達し、更らに南方に進むものは、漢口より起りて北進する線路に合せんとし、又膠州灣附近、吳淞、上海間に短距離の線路あり。

内地には手車と稱する特種の車ありて、運搬の用に供せられ、一輪にして往々帆を附するものあり。電信及び郵便は稍發達し、海陸共に内外國へ通信を缺かず。

第四章 アジア中の獨立國

一、總説。

地勢上より見れば、ヨーロッパはアジア大陸の一半島なり、邦制上より見れば、アジアは殆んどヨーロッパ大陸の附屬たり。今アジアの各部に就て見るに、東部アジアは重もに日

韓清の三獨立國より成れども、清國の要地は他國の掌中にあり。北部アジアはすべてロシア領にして、南部アジアはシヤム王國・チバル及びブータンの二酋長國あれども、其の他は主としてイギリス及びフランスの領地なり。西部アジアの獨立國には、ペルシア王國の外、アフガニスタン及びオマーンの二酋長國あるのみ、其の他は主としてイギリス及びトルコの領地なり。

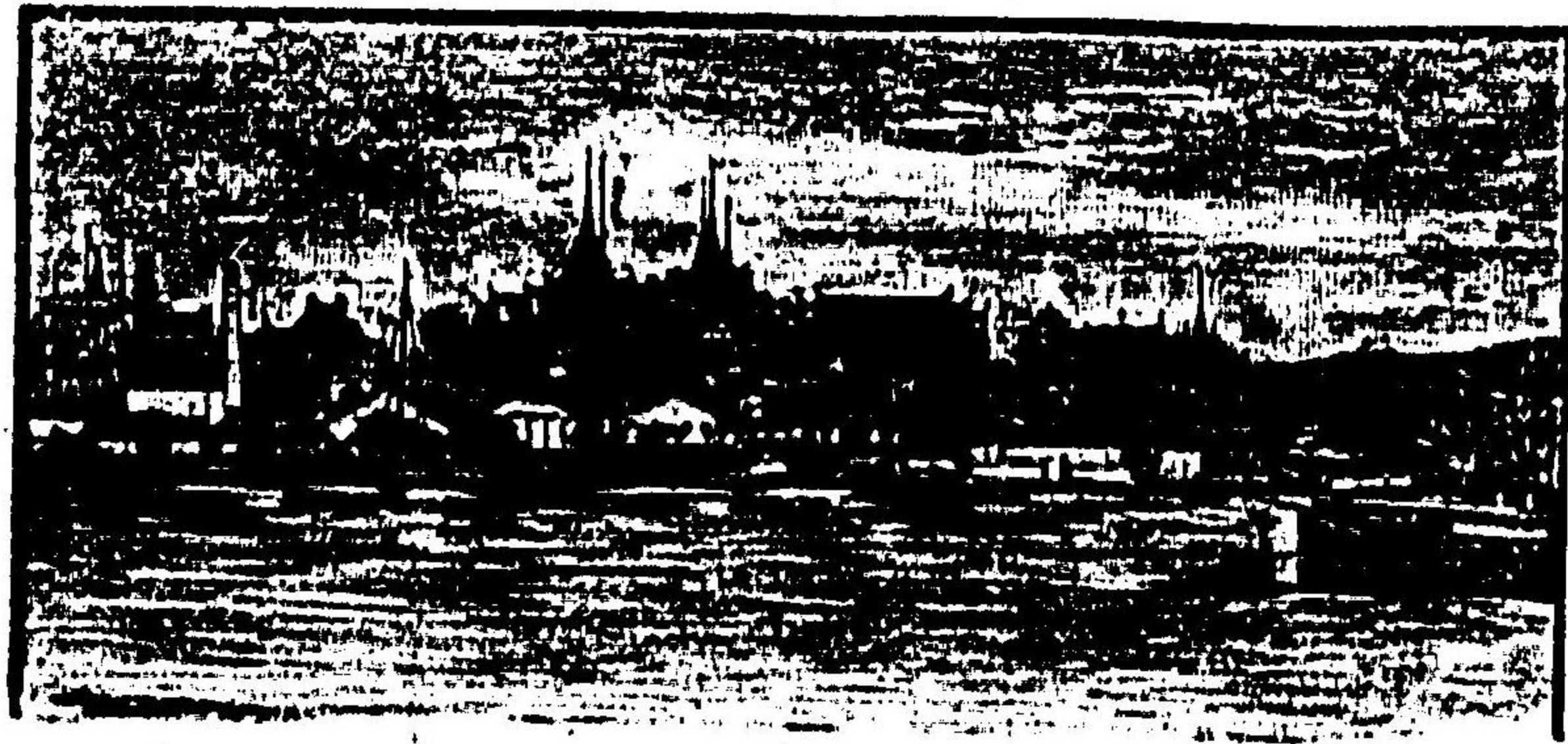
今アジアの獨立國中、日韓清三國を除き、左にこれを略説すべし。

一、シヤム。

Siam

印度支那の中部を占め、シヤム灣の北に位す。面積我が國より少しく大にして、國の大部はメナム河Mekongの流域に屬し、米

近時外國人を聘して諸般制度の改良に着手し鐵道も漸次發達す



宮王のクコンバ

紫檀・チーク材に富み、象は家畜として用ひらる。土人の外、支那人甚だ多く、國人椰子を嚼み、齒黒く、口臭し。陸海軍は微弱、輸出入額は未だ多からず。首府バンコクはメナム河に臨めども、河口淺くして大船を容るゝこと能はざるを缺點とす。チャンタブンは其の南東方に當り、フランス國これを借領す。此の國は本邦の條約國にして、首府には我が公使館、領事館の設けあり。

アフガニスタンは屢イタリヤ・ロシアの二國紛争の衝に當り、イタリヤ・ロシアの勢力範圍に接す

三、ネパール、ヒンダン及びアフガニスタン。

ネパール及びヒンダンの二國は共にヒマラヤ山系中に位し、西藏と交通すれども、西洋諸國に對しては鎖國主義を取れり。アフガニスタンは印度の北西に位し、回教を信ずる遊牧の民これに住し、カブールの酋長これを總轄す。

四、ペルシア及びオマーン。

ペルシアはアフガニスタンの西方に位し、イラン高原の大部を成し、山脈は其の縁を圍む。氣候は大陸性にして、沙漠多く、鹹湖に富む。人民は回教を信じ、遊牧の民少からず。物産は穀物、絹、縞、阿片を重なるものとす。政體は君主專制にして、兵力貿易共に盛んならず、首府をテヘランと云ふ。

オマーンはペルシア灣を隔て、ペルシアの南に當れる
獨立の酋長國にして、首府をムスカットと云ふ。
Muscat

第五章 アジア洲中の附屬國

第一節 支那に於ける占領地

甲、地理上支那の一部にして、名實共に清國の有に非ざる
ものは、香港及び澳門なり。

一、香港及び澳門。

●*Hong-kong* ●*Macao*
香港は珠江の河口に近き一小島にして、其の都邑をビク
トリアと云ふ。阿片戦争の結果、清國よりイギリスに割讓
Victoria
せしものにして、今はイギリスの支那艦隊根據地、東洋貿易
の中心なり。我が國との貿易も盛大にして、在留本邦人の

香港商業の
権は清國人
これを握る



香港附近の讓與地方

數も少からず、我が領事館の設け
あり、又日本郵船株式會社の航路
に當る。對岸の九龍は香港の讓
Kowloon
與後、清國よりこれを割讓せしも
のにして、近時イギリスは香港防
禦の爲め、九龍附近の廣大なる地
域を更に清國より得たり。香
港はもと風土不良なりしが、イギ

リス領となりてより、衛生工事の施設により、大に面目を改
めしと云ふ。

●澳門は珠江三角洲の一部に位し、ポルトガル人夙にこゝ
に移住し、遂にこれを其の領地となせり。

遼東半島は日清戦役の結果一日我が有となりしが三國の忠告によりて還附せしものなり

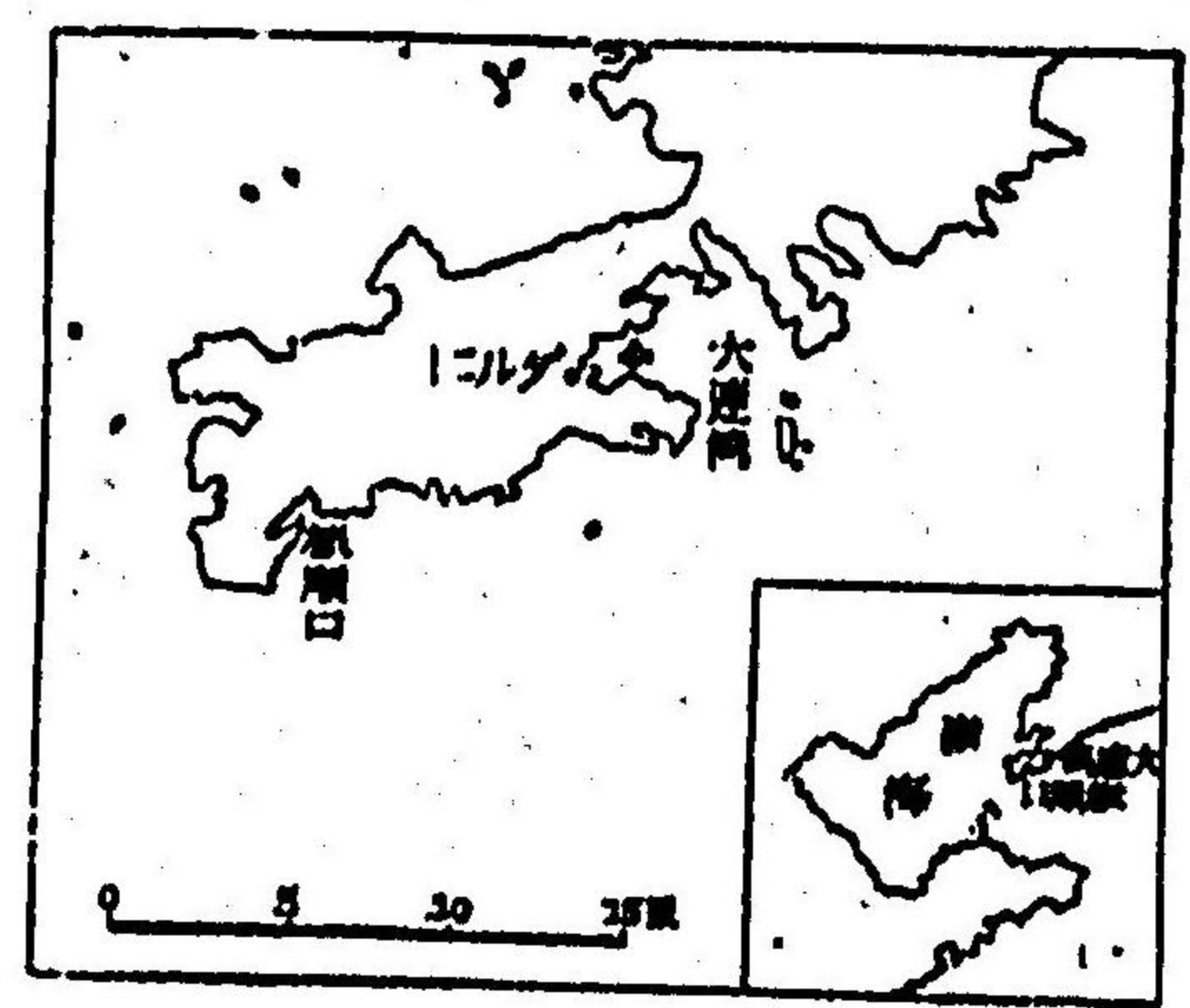
乙、名義上の借地にして、事實上の占領地は旅順口・大連灣・威海衛・膠州灣・廣州灣なり。

二、旅順口及び大連灣

Port Arthur

Taichewan

ロシアは壯大なる經營を旅順口及び大連灣に施し、其の附近を以てロシア帝國の關東省とし、又大連灣の市街には



旅順口及び大連灣

ダルニーの名を附せり。旅順口はロシア太平洋艦隊の根據地にして、大連灣の大部はこれを開放す。又義和團の亂後、滿洲全土も一時はロシアの勢力範圍に在りき。

三、威海衛

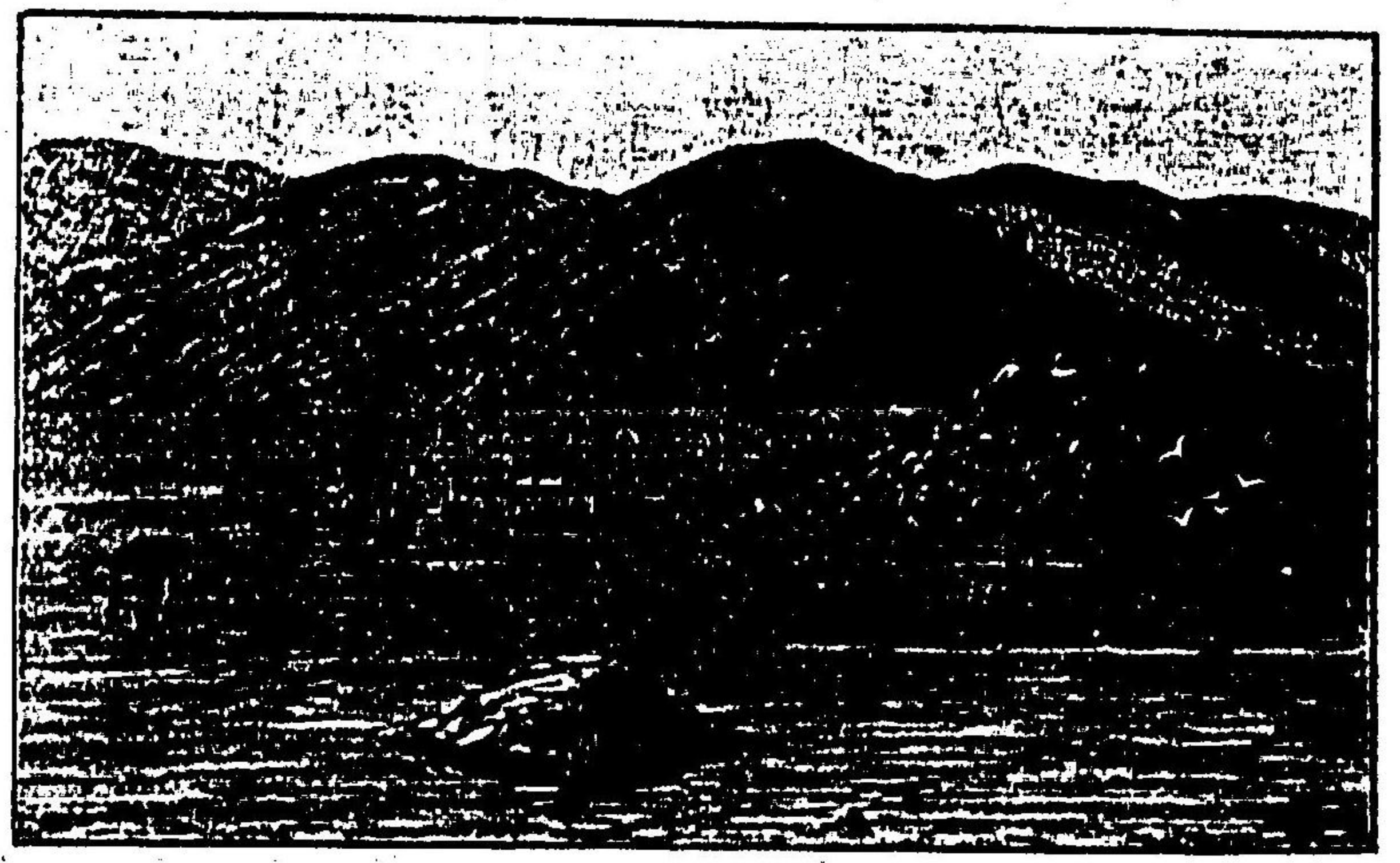
Waihaiwei

威海衛は山東半島の北岸にあり、旅順口と共に渤海の門戸を成し、もと清國北洋水師の根據地たりき。ロシアの旅順口及び大連灣を占有すると同期間、イギリスはこれを占有するの承認を清國より得、爰に軍隊を駐屯せしむ。

四、膠州灣

Kiaochau

膠州灣は山東省の南岸にある良港にして、北清に對し



威海衛

重要な位置を占む。ドイツの宣教師殺害の結果清國は遂にドイツの爲めに灣及び其の附近を借領せらるゝに至れり。ドイツは本港附近に大經營を施し、本港を以てドイツ東洋艦隊の根據地とし、鐵道の敷設は本港よりして漸次山東省の諸要地に達せんとす。

五、廣州灣。

Kwangchow

廣州灣は雷州半島の東側にあり、灣及び其の附近はフランスの借領する所なり。此の地はフランス領印度支那の保安上至要なる位置にあるが故に、フランスはこれを以て東洋に於ける第二の海軍根據地となし、サイゴンと相待てフランス領の重鎮たらしめんとす。

第二節 北部アジア

一、シベリア。

Siberia

(イ) 地文地理。

北部アジアはシベリアの地域を成し、西はウラル山脈に接し、北は北氷洋に面し、東は大平洋の諸海灣に臨み、南はアルタイ山系等によりて支那に接す。其の面積甚だ大にして、凡そ我が國の三十倍あり。

北極洋の沿岸は出入に乏しけれども、大平洋の側は屈曲多く、カムチャツカ半島、オホーツク海、日本海、樺太島あり。地勢南方に山脈を控へ、温暖なる南風を遮ぎり、北方は一面低平にして寒冷なる北風に浴するが故に、氣候概ね寒冷なり。地勢及び氣候によりて、全土を三部に大別し、北緯六十五度以北はこれを凍土帯と稱し、地下深く凍結す、これより以南

北緯五十五度以北はこれを森林帶と稱し、森林多く、其の以南はこれを曠野帶と稱し、農産に富む。

オブ・イニセイ・レナ・黒龍江の四大河、バイカル湖、興凱湖の二湖は河湖の重なるものにして、北極洋及び大平洋の二斜面に屬し、諸大河の本支流は水利甚だ大なり。

氣候は前に述ぶる如く、概ね寒冷にして、特に往古巨象の遺骸に富めるレナ河口の邊は、地球上寒極の一と稱せらる。然れども大部は大陸性にして夏季の熱も亦た甚し。

(ロ) 人文地理

人種は甚だ多けれども、人口尙ほ稀疎なり、而して移住ロシア人は次第に増加す。ロシア政府昔は囚徒を送り、今は専ら移民を奨励して、シベリアの開拓に力む。

土人は次第に絶滅す

コサク兵

ロシアの行政上、シベリアの西部は内務省の直轄にして、其の他はこれを二つの總督管區に分つ。シベリアの兵備は近時著しく増大せられ、ウラジオストック軍港の防備は極めて堅固なり。

農産畜産鑛産に富み、特に金の産出、近來次第に増加し、又カムチャツカ半島附近の海上は水産極めて豊富にして、世界に比少し。内地商業は年市により、ヨーロッパの精製品とシベリアの天産物とを交換し、外國貿易はウラジオストックの開港場及びキヤタの陸路貿易場を以て重なる中心とす。陸路の交通には官道の驛に馬車及び楯の設あり、楯は馬犬又は馴鹿を用ひ、これを牽かしむ。

シベリア大鐵道は、全長殆んど五千哩あり。此の中バイ

シベリア鐵道は、一月餘に於て世界を一周し得べし。

東清線は、其の本支線を共に通じて凡そ九千九百哩を、今や殆んど開通せり。



シベリアの犬

カル湖以西は既に開通し、湖上は汽船にて連絡し、ハバロフスクよりウラジオストックまでも亦た落成せり。バイカル湖以東黒龍江河谷の工事困難なるに、よりシベリア鐵道の幹線より分岐し、滿洲を経てウラジオストックに達すべき東清線と、又盛京を経て旅順口及び大連灣に達する南部滿洲支線の經畫あり。



シベリア大鐵道東部

シベリア鐵道線路全部完成の日には、世界の交通、商業、軍事、外交上極めて重要な關係を有するに至るべし。

水路の交通には、河湖の水利甚だ大にして、バイカル湖は汽船を通ず。唯河湖の面冬季久しく氷結するは惜むべし。沿海の交通

には、北氷洋岸は船舶の航通に適せざれども、大平洋岸は義勇艦隊を始め、夏季汽船の定期航海盛んなり。郵便、電信の設けは次第に普及し、ヨーロッパへ陸上電線、樺太島及び長崎へ海底電線を通ず。

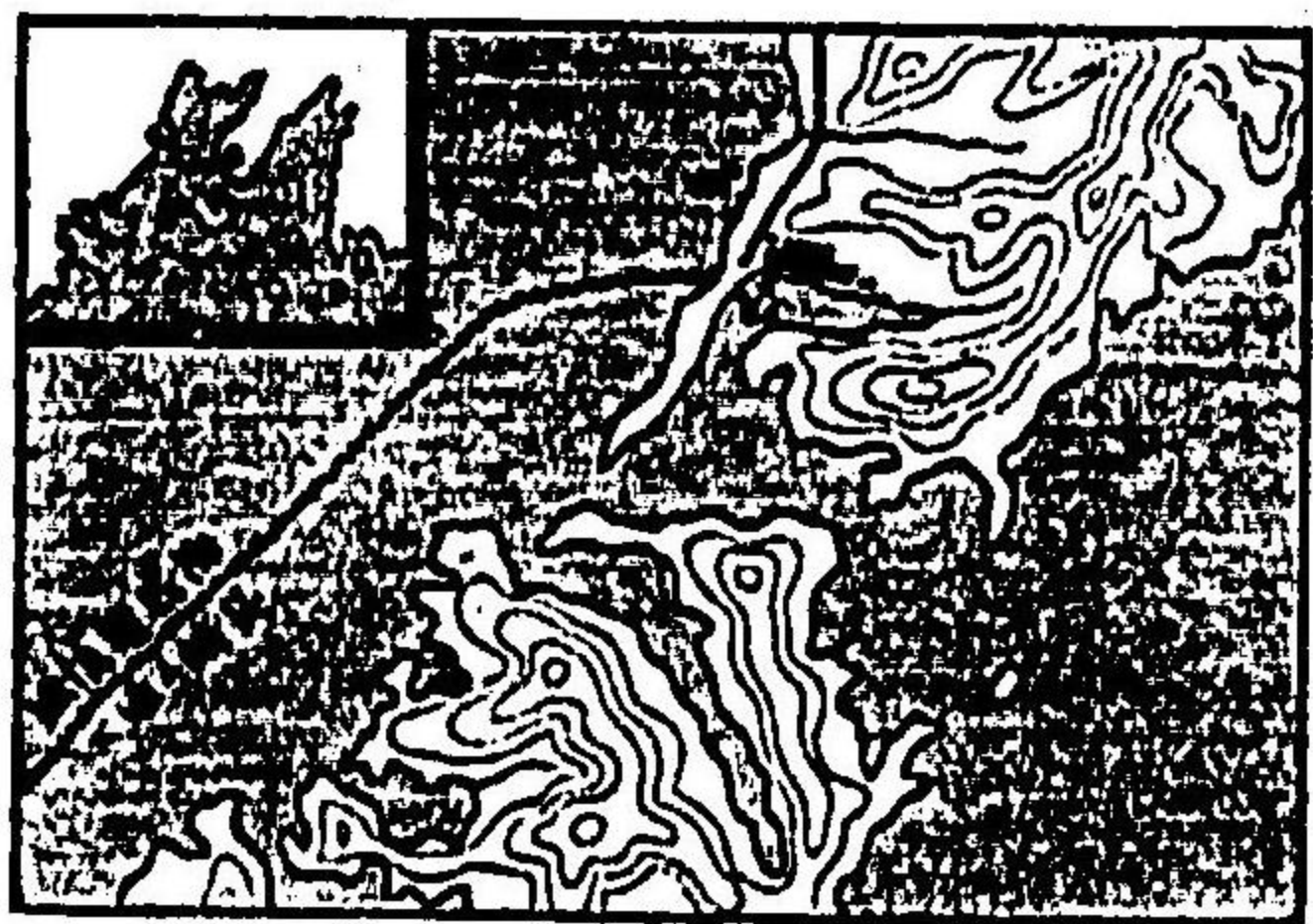
舞鶴軍港を
距ること僅
かに五百里



一の港クトスオジラウ

(ハ)地方誌。
ウラジオストック。大平
VALDISOX
洋岸ベテロ大帝灣頭に位
し、シベリア第一の開港場
シベリア鐵道の起點大平
洋艦隊の根據地にして、シ
ベリアの門戸とも稱すべ
し、鎮守府造船所砲臺の設
けあり、唯毎年十二月より
翌年四月中旬に至るまで、
港内氷結するを缺點とす。
在留本邦人甚だ多く、日本

明治七年我
が政府は千
島得撫島以
北とこれを
交換せり



二の港クトスオジラウ

郵船株式會社及び大家日本海線汽
船の航路に當り、本邦貿易事務館あ
り。ハバロフスクは黒龍江の本流
と烏蘇里江との會合點に位し、黒龍
江總督の駐在地なり。

樺太島は我が北州の北方にあり、
シベリアは囚徒を送り、これを以て本

島の開拓に従事せしむ。林産水産石炭に富み、本邦人の漁
業に従ふもの甚だ多く、南岸コルサコフには本邦領事館あ
り。

ブラゴベシチンスクは黒龍江の左岸に位し、同河水運の
中心を占め、市況日に盛んなり。

イルクツクはイニセイ河

支流の沿岸に位し、シベリア總督の駐在地にして、清國との陸路貿易の要點に當る。
キヤフタは清國の賣買城と相連り、茶及び毛皮の互市今尙ほ盛んなり。
トムスクはオゾ河の岸に近く、アルタイ山系鑛物産地の中心地、シベリア中部第一の都會にして、大學の設けあり。

二、中アジア。

Central Asia

此の地方はシベリアの南西に當り、面積凡そ我が國の八倍あり。地勢概ね沙漠又は草原にして、西にはカスピ海、中カスピ海にアラル海、東にバルハシ湖を控へ、シル・ナム・伊犁等の内陸河はこれ等の諸湖に入る。これ等無口の鹹湖は往古一大内海の遺跡なること前に述べしが如し。氣候は大陸性にして、雨量甚だ少く、草原には羊馬駱駝、河谷には綿果物の産

中アジアなる名稱はロシア行政區劃上の名なり

あり。

不毛の地多ければ、人口未だ密ならず。人種はトルコ種最も多く、近時移住ロシア人次第に増加す。住民は概ね回教を信じ、多くは遊牧を業とす。ロシアは軍政を布きてこれを治め、全土を二つの總督管區に分つ。

カスピ海及びシル・ナムの二大河は汽船を通じ、又外カス

Kaspiyskaya

ピ鐵道はカスピ海の東より起り、清國の西境に達し、ロシア

の中央アジア經營上、其の關係至て大なり。
タシケントは

Tashkent

南部の都會にして、シル河の流域に位し、總督の駐在地なり。

サマルカンドは帖木兒の舊都たるを以て名高し。
オムス

Omsk

クは北部の都會にして、イルチシ河の岸に位し、總督の駐在

Irtysk

地なり。
ボハラ及びヒバはロシアの屬國にして、各同名の

Bokhara

Hiva

全長凡そ一千五百哩

首府あり、土人の君主あれども、實權は全くロシア政府にあり。

三、カブカス。
(Caucasus/Kavkas)

カフカスは黒海及びカスピ海の中間に位し、面積我が國より少しく大なり。カフカス山脈東西に走りて、全土を二分す。

人口はシベリア及び中アジアよりは密なれども、我が國よりは遙かに疎なり。住民は容貌優美にして、音楽を好み、回教を信ず。

氣候は東部を除く外稍溫和にして、河谷は農産少からず。又、^{Iran}バク^{Iran}の石油は世界有名の物産にして、我が國へも盛んに輸入す。

鐵道の外、鐵管によりて石油をカスピ海より黒海に輸送す。

チフリスはクラ河の岸に位し、總督の駐在地に於て、商業盛大なり。^{Tiflis} ^{Konstanz}バツームは黒海、^{Batum} ^{Rabat}バクはカスピ海の岸に位し、共に堅固なる砲臺あり、軍事上及び商業上大切なる港なり。

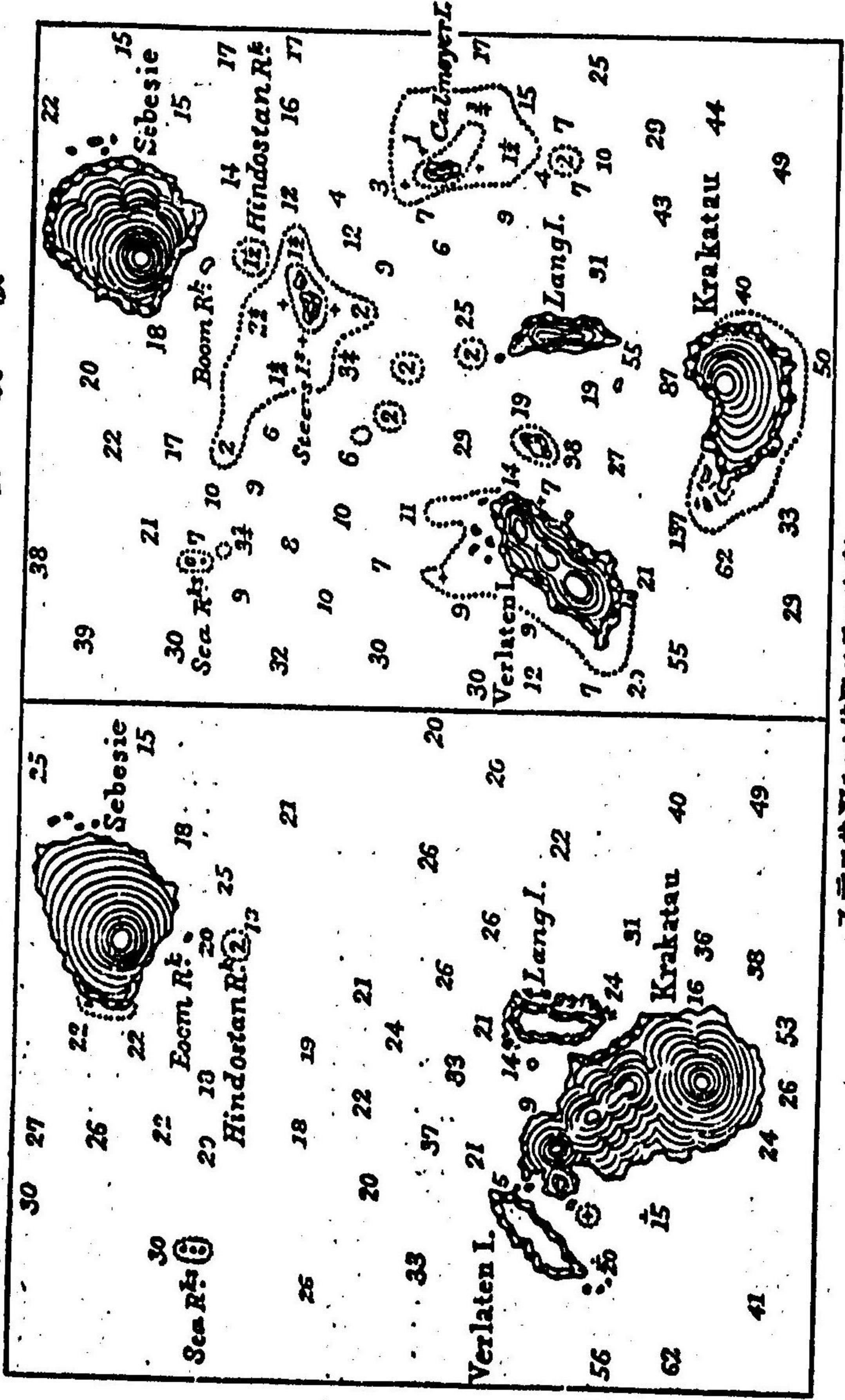
第三節 南部アジア

一、マライ諸島。

(Malay)

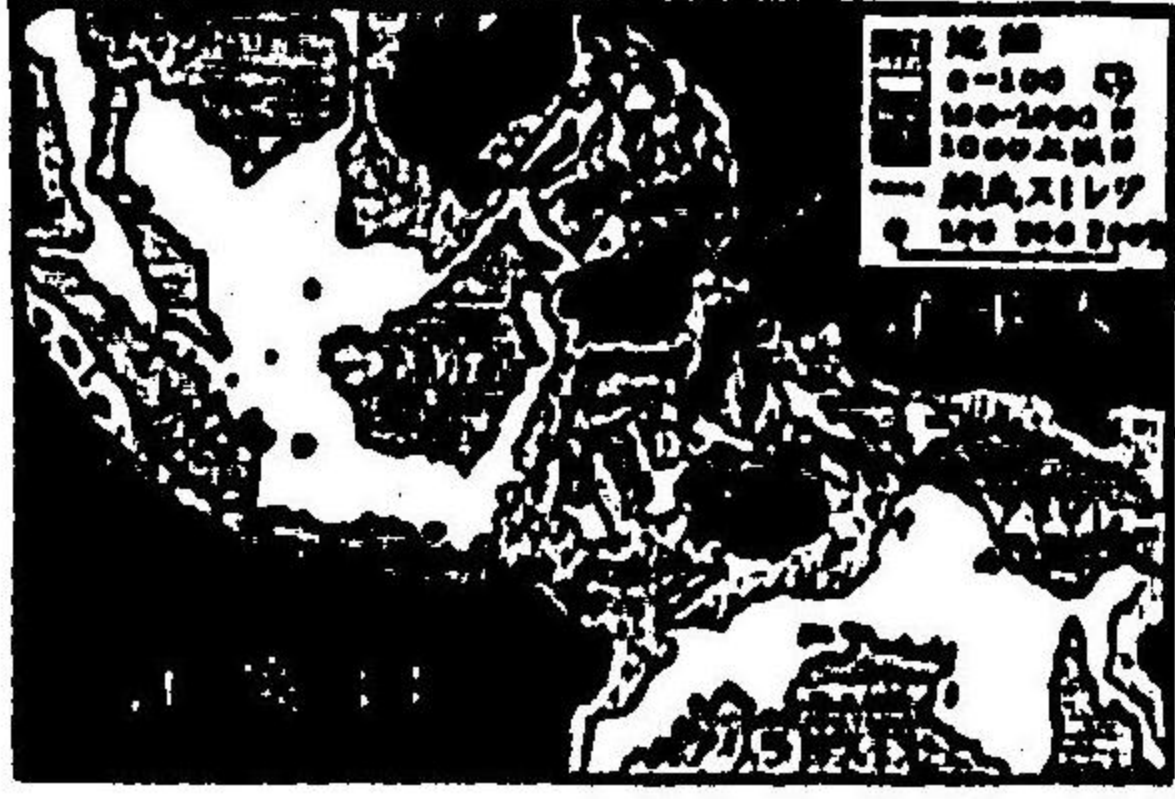
アジア・オーストラリア兩大陸の間に横はる諸島を東印度群島と云ふ。東印度群島は地球上の大皸裂地帯に當り、ジャバ島には活火山甚だ多し。面積甚だ小なるクラカタウ島の大破裂は明治十六年八月に起り、全地球上の氣界を混濁し、近海の海面及び海底に大變化を興へたりき。諸島の位置熱帯に横はり、氣温常に高く、且つ季節風の影響を受け、雨量甚だ多し。人種はマライ種最も多く、支那人も少から

近・附・破 前 後 破 後 裂 後 破



ス示ヲサ深ル位ト位單ヲ母ハ字數

ボルネオは
世界第三の
大島



線氏スーレワ

ず。言語にはマライ語を重なるもの
とし、チーデルランド(オランダ)語、イスパ
ニア語(舊イスペイン領)亦た行はる。
ニア語(舊イスペイン領)亦た行はる。
リ・ロンボク兩島間の海峡は水著しく深
く、且つ生物分布の境界線を成し、これを
稱してワ・レ・ス・氏線と云ふ。爰にマラ

Wallace's Line

Lombok

イ諸島と云ふは、即ち東印度群島の一部にして、ワ・レ・ス・氏
線によりて、アジアに屬すべきものを總稱し、今はチーデル
ランド(オランダ)イギリス・北アメリカ合衆國これを分ち領
す。

チーデルランド領は面積最も大にして、ジャバ・スマトラ全
部・ボルネオの大部を含み、ジャバ島のバタビアに總督府を置

Batavia

Java Sumatra

Borneo

ジャバの甘蔗産額は世界の四分の一に當る

近海は大風波の發生頻繁なり

きてこれを治む。ジャバ及びスマトラは石油、砂糖、珈琲の産多く、特にジャバはチーデルランドの寶庫と稱せらる。イギリス領はボルネオの北部のみに過ぎず。アメリカ合衆國領はフィリピン諸島にして、この中最大なるルソン島



マニラ灣及び附近
マニラ灣(1) クビス(2) カビタ(3)
ミンダナオ島(4) ソル島(5)

は、バシ海峽を隔て、我が臺灣の南方に對し、烟草、砂糖の産多く、我が國に輸入する額も少からず。首府をマニラと云ひ、同名の灣に臨み、南洋交通の要點を占め、日本郵船株式會社の航路に當り、本邦在留人甚だ多く、我が領事館

あり。もとイスパニアの領地なりしが、合衆國領に歸せし後も、土人久しく服従せざりき。カビタの軍港はマニラの附近にあり、合衆國はスピクを以てこれに代へ、海軍根據地として壯大なる經營を施せり。又サンフランシスコより本島に至る大平洋海底電線は遠からずして將に成らんとす。

二、印度支那。

印度支那は又更らにフランス領、シヤム王國、イギリス領の三部に分る。

甲、フランス領、印度支那は東部に位し、面積凡そ我が國の二倍あり。トンキン、安南、交趾支那、カンボヂヤの四部に分れ、トンキン、メコンの二河これを貫流す。南京米の産出甚だ多くして、盛んに本邦に輸出せらる。フランスの領地中、ア

鐵道は北部に敷設せられ漸次清國に入らんとす

住民は支那人最多數を占む

ルジェリアに次ぎ、甚だ大切なる所にして、清國に對する關係最も密接なり。交趾支那のサイゴン^{Saigon}は總督の駐在地にして、フランスの郵便船こゝに寄港す。

乙、イギリス領は海峽植民地とバルマ^{Burma}とに分る。海峽植



シロガボル - ル

民地はマライ半島の南部を占め、其のシンガポール^{Singapore}は南端の小島にあり、世界交通の要點に位し、北西方に當れるピナン^{Penang}と共に、日本郵船株式會社の航路に當り、在留本邦人も亦た少からずして、我が領事館の設けあり。バルマは行政上イギリス

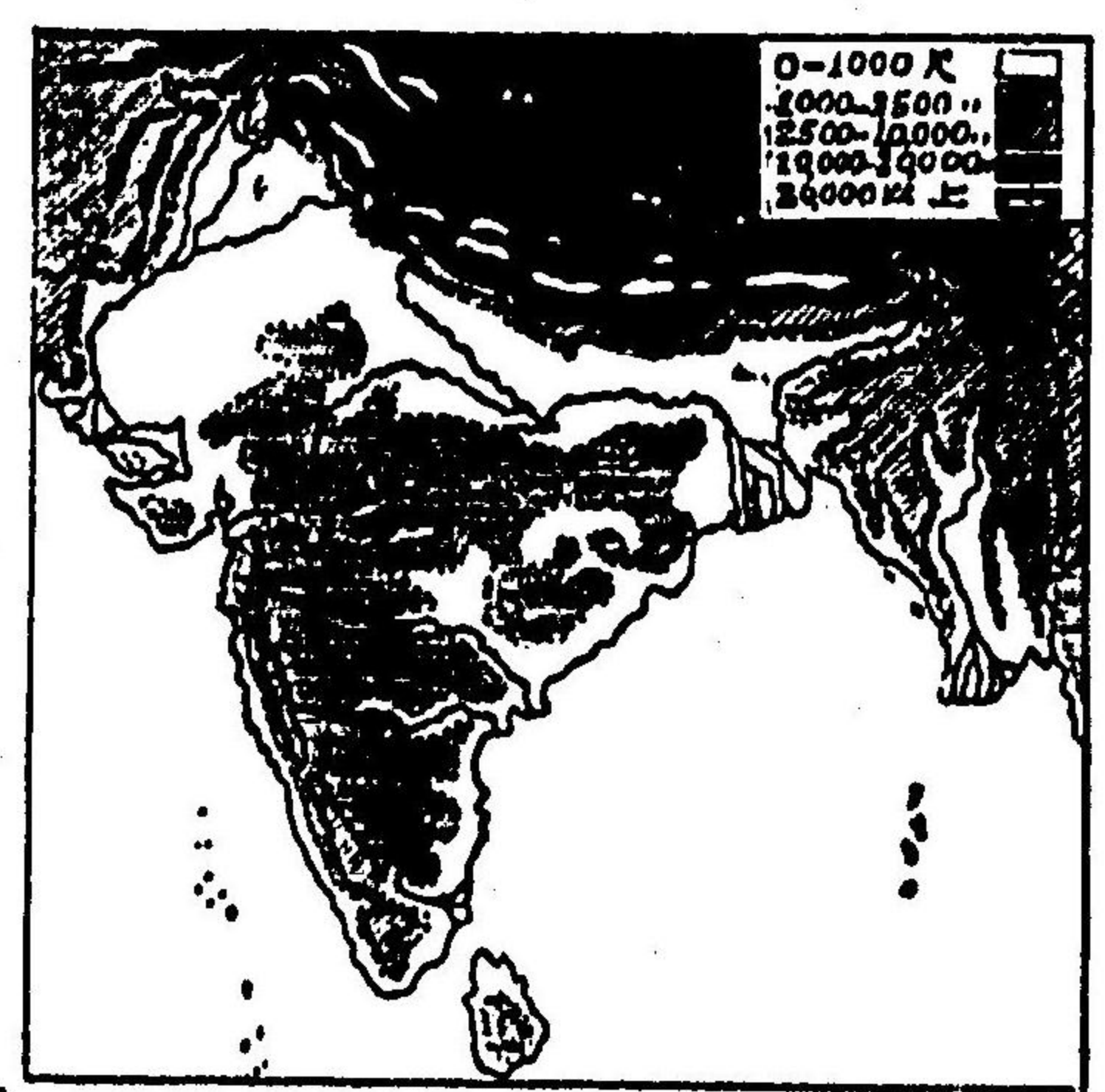
領印度の一部を成し、サルウィン^{Salween}・イラワヂ^{Irrawadi}の二河これを貫流し、チーク材及び南米の産出に富む、マンダレ^{Mandalay}及びラングーン^{Rangoon}は重なる都邑なり。

三、印度。

(イ) 地文地理。

印度はアジア大陸の南方に突出する大半島にして、一にこれを前印度と云ふ。北はヒマラヤ山系及びバミル高原を以て、清國及びロシア領中アジアに接し、南は印度洋に面す、面積凡そ本邦の十一倍あり。東はベンガル灣^{Bengal}、西はアラビア海に面すれども、沿岸屈曲に乏しく、屬島多からず。唯南東のセイロン島のみ稍大なり。地勢上ヒマラヤ山系、印度大平原及びデカン高原の三部より成る。ヒマラヤ山系

ガンガ河は
婆羅門教徒
の神聖視す
る所



印度の地勢

は非常なる高度を有し、ガウリサンカル(一名エベレスト峰)は其の高さ凡そ二萬九千尺にして、世界第一の高峯なり。印度大平原はインドス・ガンガ・ブラマプトラ三大河の流るゝ所にして、其の一部に印度(タール)大沙漠あり。地勢一ならざれば、氣候隨て多様なり。ヒマラヤ山地の下部は温和清涼にして、避暑の別天地を成し、其の上部は千古絶えざる雪を湛えて、世界に比なき大氷河を作れり。デカン高原の南部も暑熱甚しからず。印度大平原の低地は高温多雨にして、コロン、及びベント

季節風弱く
降雨乏しき
ときは大饑
饉を生ず

の巢窟なり。而して季節風(信風)の影響を受け、雨は夏季に多く、ガンガ河の流域には世界最多の雨量あり。

(ロ) 人文地理

人口凡そ三億、其の人種はヒンヅー種を主とし、ヅラービ種これに次ぐ。ヒンヅー種は印度大平原に多く、ヅラービ種はデカン高原に多し。

ヒンヅー種はサンスクリット語を用ひ、婆羅門教を奉ず。階級の制甚だ嚴にして、四大川あり。アラリアン即ち僧族第一位を占め、兵族これに次ぎ、商農等を含める族又これに次ぎ、最下級に位するを賤民とす、階級異なるものは互に交通せず。

人種、言語、宗教甚だ多く、國の統一望み得べからず。宗教

學齡兒童百
中就學者男
子二三、五
女

には婆羅門教最も行はれ、回教徒これに次ぐ。此の國は佛
教起源の地なれども、本邦に於ける如く行はれず、又教育の
進歩は遙かに劣等の位置にあり。
印度は往古より文明の域に進みたりしが、今はヒマラヤ
山系の二小國と、沿岸の二三小區域とを除き、全くイギリス
の掌中に歸せり。
イギリスの統治上、全半島直轄植民地たるセイロン島を
除く(にバルマを加へ、これを以て印度帝國と稱し、イギリス
皇帝は其の本國たる合衆王國の王、諸植民地保護地屬地の
君主たると同時に、印度皇帝の稱號を有す。
行政上印度帝國を二大別して直轄部及び藩部とす。藩
部は數多の小國に分れ、其の重もなるものは凡そ四十あり

象は家畜と
して用ひら
る又猛獸だ
蛇の害甚だ
大なり

て、最も大なるものは面積約一萬五千方里に及ぶ。昔舊來
の君主ありて、これを支配す。而して印度大總督は首府カ
ルカッタに駐在して、全土を總轄す。

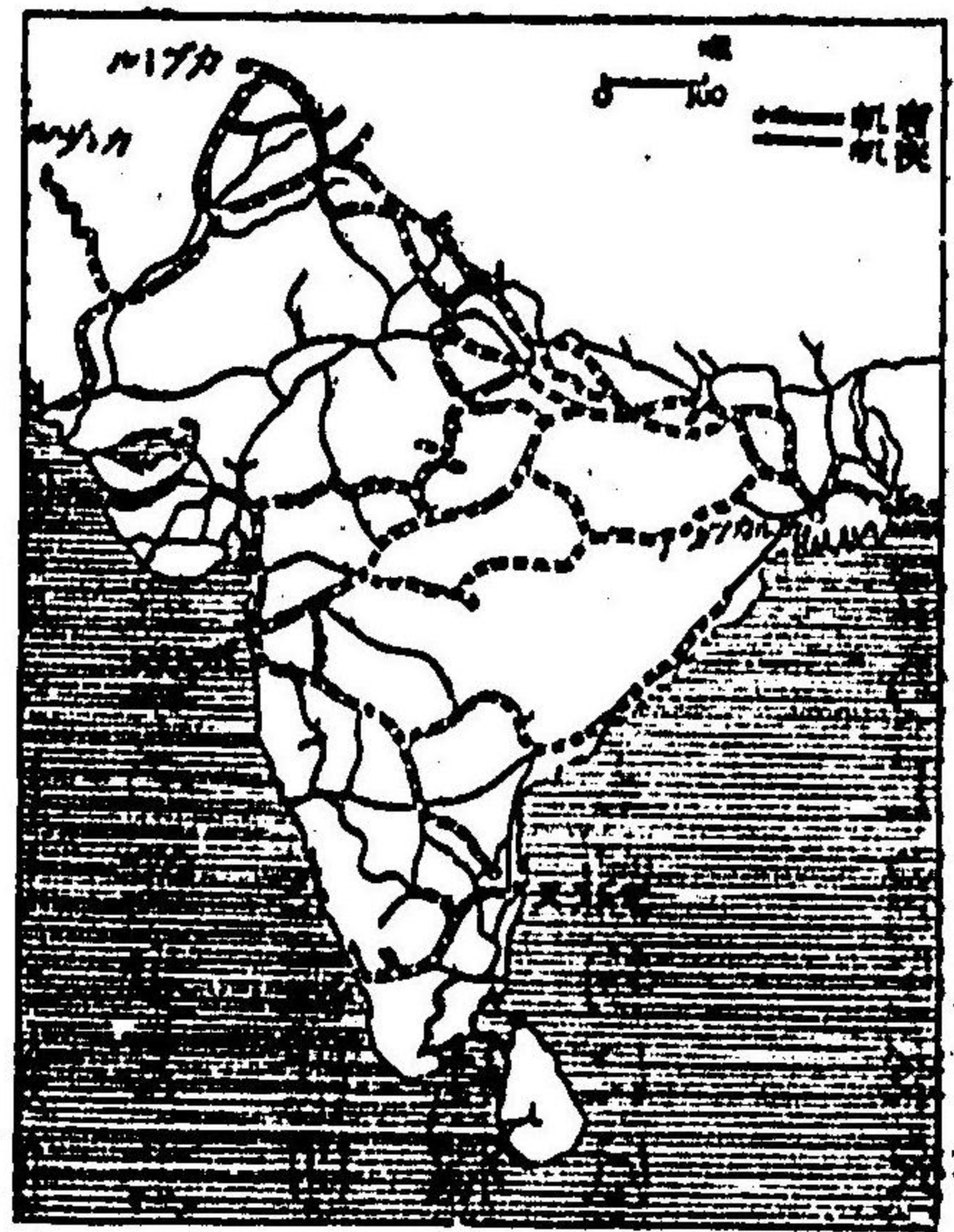
耕地の面積廣大にして、氣候高温なれば、天産甚だ豊かな
り。特に近年農業の進歩と共に、産額一層の盛大を來たし、
綿・米・麥・阿片・黃麻・茶・藍・菜種は印度の重もなる農産品となれ
り。地勢氣候一ならざれば、植物の種類甚だ多し、礦物には
稍豊かならざれども、動物には虎・豹・獅子・鱈魚・象・水牛・大蛇等
あり。

製糖綿布麻布の工業、近來次第に起り、外國貿易は年々盛
んにして、米・綿・黃麻・阿片・茶・菜種・藍・獸皮は重もなる輸出品、綿
布・金屬品・砂糖・油・機械類・絹布・毛織物は重もなる輸入品なり。

其の輸出入國はイギリス本國を第一とし、清國及びドイツこれに次ぐ。本邦との貿易も盛んにして、本邦より石炭、

チ等を輸入し、本邦へ棉花藍等を輸出す。我が國綿織絲の原料は多くこれを印度に仰げるものなり。

交通は次第に發達し、鐵道は全長凡そ二萬五

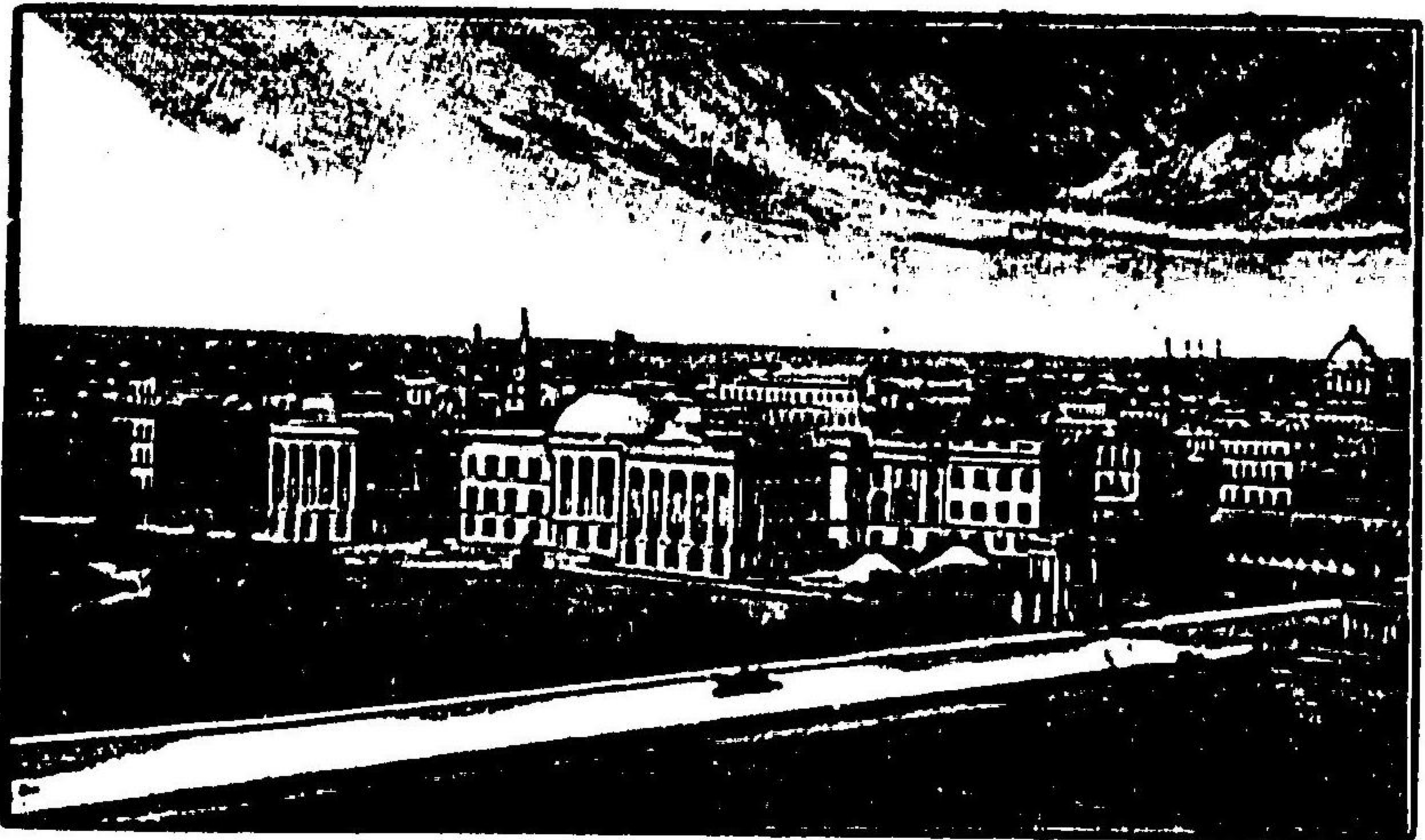


印度の鐵道

千哩に達し、三大河及び運河の水利至大にして、郵便電信の制も頗ぶる進歩せり。

ハ、地方誌。

印度より本邦に輸入する棉花は、此港より積出さるるのみ



カルカッタ

カルカッタはガンガ河の三角洲に位し、印度第一の都會、印度大總督の駐在地にして、貿易最も盛んなり。パटनाの附近は佛陀の遺跡に富み、ベナレスは婆羅門教の靈地、Benares デーリは舊モーゴル帝國の首府にして、皆ガンガ河の流域にあり。Bombay ボンベイは西岸に位し、全名の小島ありて、良港を抱き、總督の駐在地にして、其の人口貿易共にカルカッタ



次に次ぐ。本港は日本郵船株式会社の航路に當り、本邦領事館あり。

マドラスは南東岸にあり、人造の良港にして、印度第三の開港場なり。

印度に於ける他國の領

地、ポルトガル及びフランスは印度に領地を有すれども、其の區域甚だ狭小にして、且つ繁盛なる都府なし。

印度に於ける獨立國、ヒマラヤ山系中にネパール及びブータンの二國ありて、第四章にこれを略述せり。

印度に於けるイギリスの直轄殖民地、セイロン島

セイロン島は印度半島の南東に位し、Adam's Bridgeの地脈を以て、本陸に接せんとす。面積我が北州より少しく小にして、氣候高温、肉桂、珈琲、茶の産に富み、又寶石の産あり。首府コロンボは西岸にあり、世界交通の衝に位し、日本郵船株式會社Colomboの航路に當る。

第四節 西部アジア

西部アジアは地理上イラン諸邦、アラビヤ及びアジアトルコの三部に分る。

一、イラン諸邦

イラン高原は邦制上アフガニスタン、Baluchistanトルキスタン及び

ペルシアの三部に分る。ペルチスタンはイギリスの保護國にして、ケラットの酋長これを總轄す。アフガニスタン及

びヘルシアに就ては第四章を見よ。

二、アラビア。

Arabia

アラビアは世界第一の大半島なり。地勢高原にして、大抵沙漠なり、馬、駝、鳥、駱、駝、護膜を産し、地勢、氣候、天産、アフリカに似たり。回教の起源地にして、マホメットの生地たるメッカ、其の死地たるメデナ皆ここにあり、共にトルコ領なり。全

Mecca

Mahomet

Mecca

半島は殆んどエジプト及びトルコの支配に屬し、又獨立の酋長あれども、實際上イギリスの勢力少からず、紅海の口に近きアデンは其の領地にして、貿易盛大なり。

Aden

アラビア半島の南東隅なるオマーンの酋長國に就ては、第四章を見よ。

三、アジアトルコ。

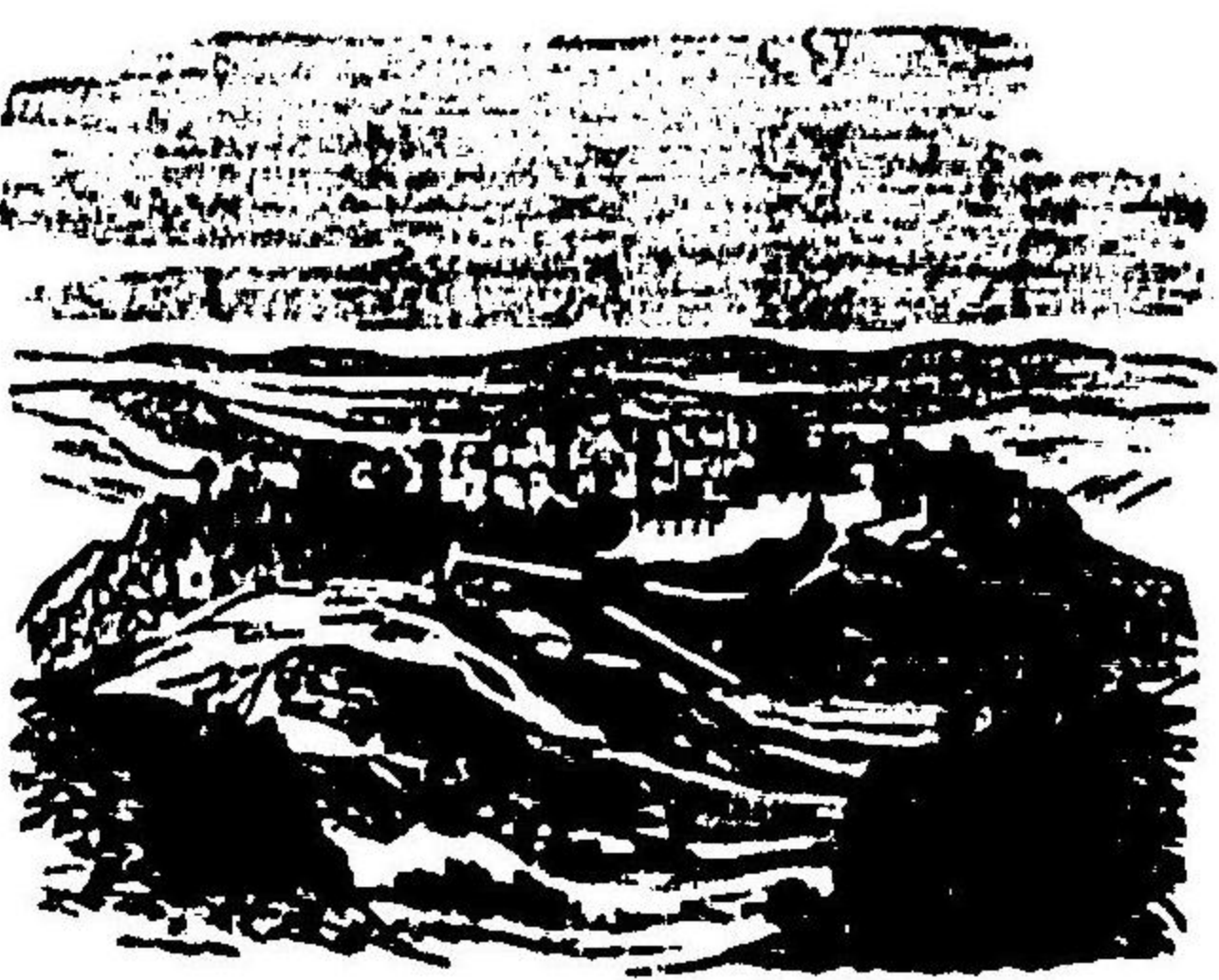
Turkey in Asia

紅海は地球上最暖の海水を有す

死海及附近



(1) 死海 (2) ヨルダン川 (3) ユレサルエ



ユレサルエ

地勢は一ならず、チグリス及びエウフラト二河の流域は平地廣大なり。小アジア半島は西方に突出し、ボスゴロス海峡・マルマ

Tigris

Euphrates

China

China

China

ラ海・ダルダネルス海峡を隔て、ヨーロッパに對す。南岸のキプロス島はイギリス領なり。又死海

の面は地中海の面より低きこと凡

そ一千三百尺の窪地に位し、これに

流入するヨルダン河の河谷は、地質

Jordan

構造上、アフリカ東部の地溝帯に接

續す。死海の水は鹽分非常に大にして、百分中凡そ二十五に達し、生物生活する能はず。近傍は基督教の起源地にして、基督の墳墓はパレスチナのイエルサレムJerusalemにあり。氣候も一ならずして、穀物・絹・綿・珈琲・阿片・果物の産あり。近來鐵道の發達頗ぶる著しく、ヨーロッパ諸強國皆これに注目するに至れり。

第六章 人文地理

一 住民。

アジアの人口は凡そ八億三千万にして、世界人口の半以上に當る。バミル高原、シベリア凍土帶、青海地方、ゴビ沙漠は殆んど無人の境多けれども、黃河、揚子江、ガンガ河下流の

平原は人口甚だ稠密なり。人種甚だ多く、これを大別して三とす。蒙古種は最も多數を占め、中央及び東部アジアに多く、地中海種これに次ぎ、西部アジア及び印度に多く、アラ種は本洲の南東部に多し。

生業に就てこれを大別すれば、漁獵の民は北氷洋岸より北緯六十五度に至る北帶の區域を占め、遊牧の民はこれより以南北緯三十五度に至る中央の區域とアラビア及びイランの地とを占め、定住の農民は日本支那南部アジア、小アジア等に居る。教育は我が國を除きては實に云ふに足るものなし。

アジアは重なる宗教の起源地とも稱すべく、其の住民の信奉する宗教は甚だ多し。佛教は東部アジア、セイロン

島印度支那等に行はれ、其の信徒最も多く、回教は西部アジア印度マライ諸島等に行はれ、婆羅門教は印度の人民多くこれを信奉す。基督教は西部アジアの一部に行はれ、又其の布教は本洲の全土に亘りてこれをかむ。

二、邦制。

地勢上より見れば、ヨーロッパはユーラシア大陸の一半島なれども、邦制上より見れば、アジアはヨーロッパの附屬たるが如し。獨立國には我が國を除く外、僅かに清韓シヤム・ベルシア等あれども、國勢皆振はずして、他國の制肘を受くること少からず。北部アジアは全くロシアの領地に歸し、南部アジアは殆んどイギリス及びフランスの領地となれり。

三、産業。

アジアの天産に就ては、已にこれを前に述べたり。アジアは斯くの如く天産に富むと雖ども、富源は未だ十分に開發せられざるものゝ如し。シベリア南部支那南東部印度平原等の農産、シベリア南部及び支那南部の林産、ペーリング海峡附近の水産、アルタイ・ウラル諸山地の貴金屬、何づれも世に名高し。工業は未だ盛んならずと雖ども、近來印度及び本邦に於けるものは、ヨーロッパ諸國の勁敵たるを示せり。貿易は次第に盛大を極め、横濱・神戸・上海・香港・カルカッタ・ボンベイは各其の地方貿易の大中心となれり。

四、交通。

道路の開鑿は東部及び南部アジアの沿岸附近を除き、尙ほ不十分に於て、内地は重もに馬又は駱駝により、北部にて

は橋を用ふ。鐵道の敷設は本邦印度小アジアに於ては次第に延長せられ、清韓の内地にも漸次其の發達を見んとす。特にシベリア大鐵道は世界の交通に重要な關係を有し、外カスピ鐵道は中央アジアの開發上至大なる影響を見んとす。

水路の交通には諸大河の水利あり、就中揚子江を以て第一とす、唯北部アジアの諸大河は結氷期の長き缺點あり。沿岸の交通は甚だ盛んにして、北氷洋岸を除く外汽船の往來甚だ頻繁なり。唯東部アジア沿岸の一部は冬期氷結し、支那海の東部は大風の襲來と、海賊の時々横行するとを缺點とす。而して横濱より東は北アメリカに至り、西は香港シंगाポールスエズを経て地中海に至る航路は、地球上の

重もなる交通路にして、諸大汽船會社船舶の往來常に絶えず。

五、概説。

アジアは人口最も多き大陸なり。

アジアは人種最も多き大陸なり。

アジアは重もなる宗教の起源地なり。

アジアは世界第一の大鐵道を有す。

第二篇 オセアニア

Oceania

第一章 オーストラリア聯邦

Australia

第一節 地文地理

一、境域。

オーストラリアはアジアの南東に位し、其の位置全く南緯にあり。世界最小の大陸にして、或はこれを島と見ることあり。内地は地理不明の處多く、特に西部を甚しとす。

二、沿岸。

輪廓は單簡にして、大屈曲に乏しけれども、南東部には小なる出入多し。又北東部には長さ五百里に達する珊瑚礁

季節我が國とは反對なり

あり、これを大堡礁と云ふ。

Great Barrier Reef

三、地勢。

内地は少しく低く、四周は稍高し。南東部には稍著しき山脈ありて、其の南部はオーストラリアアルプと稱せらる。内地の西部は多く沙漠にして、所々に小山脈及び鹹湖あり。

Australian Alps

四、水誌。

河流は他大陸の同長の河に比して、水量甚だ少く、又季節によりて水量の變化甚だ大なり。内地流域は頗ぶる廣くして、鹹湖多けれども、著しき内陸河なし。

マurlレー河は長さ五百里に餘り、本大陸第一の大河なり。

Murray

五、氣候。

面積廣大なれば、氣候一樣ならず。沿岸北部は熱帶性、南

洪水の憂あれどもこれと共に沃土を堆積す

内地の熱風は猛烈なり

部は温帯性の氣候を有し、高地には冬季積雪を見る、洪水旱魃共に甚だしく、牧畜上の損害少からず。内地は雨量極めて少く、寒暑の差甚だし。

第二節 人文地理

一、住民。

人口凡そ三百七十萬、面積に比して人口未だ密ならざれども、増加の割合は甚だ大なり。概ねイギリス人にして、土人は甚だ少く、且つ次第に絶滅す。これ等の土人は野蠻にして定住せず、蛇蛙を食ひ、食人の陋習を存す。移住支那人は次第に多きを加へしを以て、政府は遂に禁止的の人頭税を課するに至れり。本邦人も近來次第に増加し、各洲は其の移住に制限を加へんとする傾向あり。

所によりては一人に付き凡そ千圓を課す

二、政治。

全土イギリスの領地にして、もと五個の植民地に分れ居りしが、近時改めてこれを州とし、タスマニアをも合してオーストラリア聯邦と稱し、大總督を置き、以て政治上の統一を計れり。各州には總督を置き、内政は自治なり。

三、産業。

天産植物は珍奇なる種類に富み、高さ五百尺に達するユーカリ樹あり。動物も亦た奇異なる種を存し、カンガルー Eucalyptus 及び鴨嘴獸の如き奇獸あり。然れども今日オーストラリアの富源たる穀物の種子及び家畜は、皆元來ヨーロッパより輸入せられしものにして、羊の頭数は全世界第一に位す。又沿岸には眞珠貝の産少からず。鑛産多くして、地球上大

産金地の一なり、又石炭の産に富む。

外國貿易は産業の進歩と共に次第に發達し、輸出品の主



樹リカニ

要なるものは金及び羊毛
なり。我が國との貿易も
次第に盛んにして、我が國
より米及び魚油を輸出す。

四、交通。

交通は次第に進歩し、特
に南東部に於ては、鐵道の
發達最も著しく、山地を横
斷するに至る。電線は大
陸の中央を横斷し、又海底
線によりてアジア及び南
部アフリカ等に通ず。



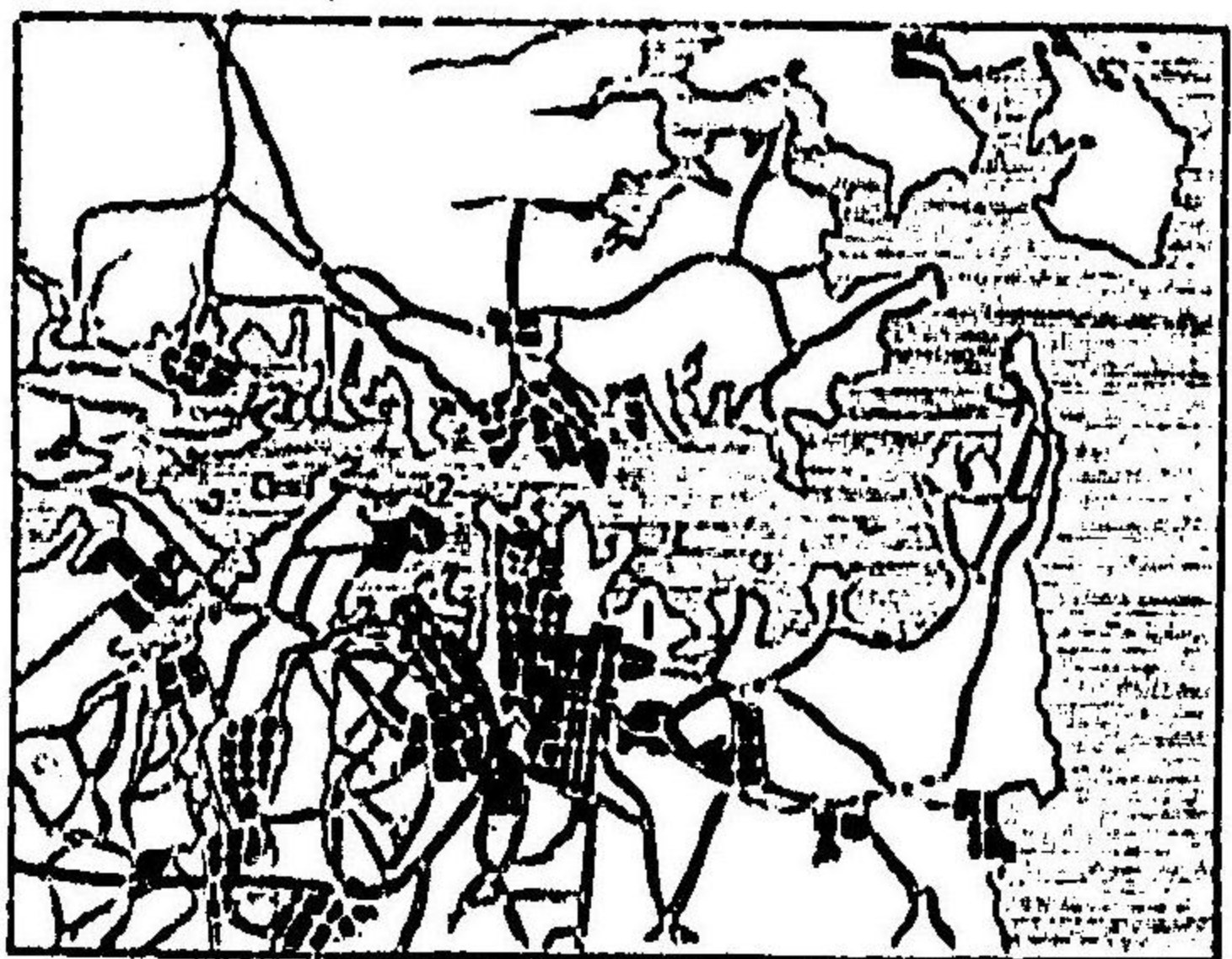
ールガンカび及獸嘴鴨

沿岸及び他大陸間汽船の往來盛んにして、我が日本郵船株式會社の汽船も横濱より香港を経て沿岸諸港に至る。

第三節 各州誌

一、オーストラリア本部。

ニューサウスウェールズ州の首
 府シドニーはオーストラリア最
 古の都府、炭田の中心、安全なる良
 錨地、オーストラリア艦隊の根據
 地にして、又日本郵船株式會社の
 航路に當り我が總領事館の設け
 あり。



ビクトリア州の首府メルボル

ンは人口に於てはオーストラリア第一の都會なり。

クイーンズランド州の首府をブリスベーンと云ふ。其の北

西のタウンズビルに我が領事館あり、附近には在留本邦人

甚だ多し。本州の北方はヨーク半島突出し、トレス海峡を

隔て、ニューギニアに對す。此の海峡中にある木曜島は眞

珠貝の産出に富み、我が國人の在留するもの甚だ多し。

南オーストラリア州の首府をアデレードと云ひ、西オース

トラリア州の首府をパースとスふ。

二、タスマニア州。

タスマニアはバス海峡を隔て、オーストラリアの南方

に位する一大島にして、輪廓は心臟形を成し、地勢山多く、沼

岸屈曲に富み、寒暑氣温の差非常に少く、空氣は多量のオゾ

ンを含み、氣候良好なること、世界第一と稱せらる。首府をホバートと云ふ。本島はもと植民地の制を布きしが、今はこれを州と改稱し、オーストラリア聯邦の一部を成すに至れり。

第二章 マライシア *Malaya*

一、總説。

爰にマライシアと稱するは東印度群島の一部にして、マレーズ氏線前を見よにより、オーストラリアに属すべきものを總稱す。マライシアに含まれたる島嶼の中、主要なるものはセレベス・セルッカ及びビスマタ諸島の一部にして、多くはポルデラランドの領地なり。

ポルデラ東印
度總督の支
配に属す

二、各島誌。

セレベス島はボルネオの東にあり、輪廓K字の如く、又海嶼の如し。火山多く、地震も少からず。セルッカ諸島はセレベス島の東にありて、香料の産に富み、有名なるマガリエンズ氏世界週航の目的も、亦た此の地に達するにありき。

第三章 ポリネシア *Polynesia*

一、總説。

ポリネシアは大平洋中に於ける大小無数の島嶼を總稱し、二三の大島を除く外、珊瑚島に非ざれば火山島なり。海風常に吹くを以て、小島に於ては、熱帯の苦熱を感ぜず。又麵包樹の如き特有植物を産し、土人はこれを常食とす。

珊瑚島は環
礁にして中
に海水の湖
を作る

ポリネシアを分て三部とす、其の一、メラネシアはニューギニアよりフィジー諸島に至るまでを含み、其の二、ミクロネシアはメラネシアの北方に連れる諸島にして、大部は赤道の北に位し、其の三、ポリネシア本部は大平洋東部の諸島を含む。

ポリネシアも亦たすべてヨーロッパ諸強國の領地にして、土人は次第に減少す。今各部に就き重もなる二三の島を左に畧記すべし。

一、メラネシア。

Melanesia

(イ) ニューギニア。ニューギニア(パプア)はオーストラリアの北方に位し、面積殆んど我が國に二倍し、世界第二の大島なり。輪廓恰も龜の如く、大山脈は中央を貫ぬき、二萬尺内外

の高峯少からず。氣候濕熱、森林鬱蒼、土人強暴なるを以て、内地の地理は未だ明かならず。人種はパプア種にして、毛髮羊毛の如く卷縮し、フィリピン諸島に於ける如く水上生活を爲すもの少からず。ドイツ・ネーデルランド・イギリスの三國これを分ち領す。

(ロ) ニューヘブライツ。ニューヘブライツはニューギニアの南

New Hebrides

東にあり、概ね火山島にして、イギリス及びフランス兩國の保護地なり。北部の人民は野蠻にして、食人の陋習あり。

(ハ) ニューカレドニア。ニューカレドニアはニューヘブライツ

New Caledonia

諸島の南にあり。氣候良好、鑛物に富み、特にニッケルの産多し。フランスはこれを領して、囚徒を送る地に充つ。

(ニ) フィジー諸島。フィジー諸島はニューヘブライツ諸島の東

Fiji

にあり。風土良好にして、砂糖果實木材の産多く、良好なる港灣に富み、大平洋交通の要點なり。

三、ミクロネシア。

Micronesia

(イ) マリアナ(一名ラドロナ)諸島、*Mariana*、マリアナ諸島は小笠原

島の南にあり、其の火山脈は我が國に連る。もとイスバニ

アの領地なりしが、其の中最も大なるグアム島は近時これをGuamをアメリカ合衆國に讓與し、他はこれをドイツに賣り渡したり。

たり。

(ロ) ペリニー(一名パラオ)諸島及びカロリナ諸島、これ等の

Peleu

Palao

Caroline

諸島は一部珊瑚島にして、一部火山島なり。もとイスバニ

アの領地なりしが、マリアナ諸島の一部と共に、これをドイツに賣り渡したり。

小笠原島は地理上ミクロネシアの一部なり

サンドウィッチ諸島を指してハワイ諸島と通稱すること多し

(ハ) マルシャル諸島、これ等の諸島も珊瑚島にして、カロリナ諸島の東にあり、全じくドイツ領なり。

(ハ) マルシャル諸島
Marshall

其の他ミクロネシアに屬する諸島は皆イギリス領なり。

四、ポリネシア本部。

Polynesian Empire

(イ) サンドウィッチ諸島、アジア及び北アメリカの中間に

Sandwich

位し、極めて重要な位置を占む。最大島をハワイと云ひ、

Hawaii

大火山多く、常に熔岩を噴流し、極めて壯觀なり。氣候炎熱

なれども、良好にして、養生に適す。もと獨立國なりしが、近

年アメリカ合衆國に合併せられ、其の一地方を成すに至れ

り。地味豊饒にして、甘蔗糖の産出甚だ多く、在留本邦人は

殆んど六萬に及び、總人口の凡そ三分の一を占む。首府ホ

ノルルはオアフ島にあり、我が東洋汽船株式會社の航路に

Honolulu

Oahu

當り、又我が總領事館の設けあり。

(ロ) トンガ諸島はフィジー諸島の東方にあり、多くは珊瑚島一部は火山島なり。イギリスの保護國にして、主人の王これを支配す。

(ハ) サモア諸島はトンガ諸島の北方に位する火山島にして、近時まで獨立の王國なりしが、遂に大部はドイツ領、殘餘は北アメリカ合衆國領となれり。

五、ニューゼーランド。

New Zealand

ニューゼーランドはオーストラリアの南東に位し、氷半島の極附近に當る。重もに南北の二大島より成り、輪廓は長靴の如く、イタリヤに似たり、但し其の方向を異にす。山脈は全土を縦貫し、南島に於ては雪線を抜き、氷河を有する高

ニューゼーランドの北東に世界第一の深さあり、深さ凡そ三萬一千尺



マオリ土人

峯あり、北島に於ては泥火山間歇泉に富める、火山地方あり。地形狭長にして、南北に亘り、且つ高

山脈あるを以て、氣候は一ならず。

住民は重もにイギリス人なれども、少數の土人あり、マオリ人と云ふ。多くは北島に住し、好んで文身を施す。此地はイギリスの植民地中重要なるもの、一にして、總督を

置きてこれを治む。天産には金石炭等の礦物多く又穀物家畜の産に富む。海底電線及び汽船の定期航海によりて、本島とオーストラリア及び他大陸間の交通は甚だ便なり。北島のウヰリントンWellingtonはニージーランドの首府にして、オークランドAucklandは全島第一の都會なり。

最近女子地理教科書 外國之部上卷 終

最近女子地理教科書外國之部上卷附表(概ね一九〇三年三月川版英同政年體に據る)
アジア洲之部

地名	面積 一〇〇〇方哩	人口 一〇〇〇位	摘要
アジアロシア	六、五六四	二二、六九八	一八九七年一月二十八日調査
(シベリア)	四、八三四	五、七二七	同
(中アジア)	一、五四九	七、七三二	同
(カフカス)	一八一	九、二四九	同
日本	一六一	四六、八八二	明治三十二年 末日調査
韓	八二	八〇〇乃至一六〇〇	
清	四、二三五	三九九、六八〇	
(支那本部)	一、三五三	三八三、〇〇〇	
(滿洲)	三六二	七、五〇〇	
(蒙古)	一、二八八	二、〇〇〇	
(西藏)	六五二	六、〇〇〇	

(東トルキスタン)	直隸省	山東省	山西省	河南省	江蘇省	安徽省	江西省	浙江省	福建省	湖北省	湖南省	陝西省	甘肅省
一四八	四三二	五八	五八	六七	六一	三七	三七	五三	六七	三五	四一	七四	一三一
六〇〇	五八〇	一七、九三七	三六、二四八	一三、二二一	二二、一一六	二〇、九〇五	二〇、五九六	二四、五三四	一一、五八九	三三、一九一	三四、二四五	二二、〇〇三	八、四三三
													九、二八五

四川省	廣東省	廣西省	貴州省	雲南省	フランス領印度	フランス領印度支那	(安南)	(カンボヂヤ)	(交趾支那)	(トンキン)	シヤム	海峽植民地	フィリピン諸島	(サハヤ)
一六一	七九	八〇	五八	一五五	一	二五六	五二	三七	三三	一四四	二四四	一	一一四	四八
六七、七二三	二九、七〇六	五、一五一	七、六六九	一一、七三二	二七五	一八、〇〇〇	六、三九四	一、五〇〇	二、三三四	七、五〇七	五、〇〇〇	五七二	八、〇〇〇	二六、一二五
												一九〇二年調査		

ア ッ ア ト ル コ	ペ ル シ ア	ア フ ガ ニ ス タ ン	ベ ル チ ス タ ン	セ イ ロ ン	ポ ルト ガ ル 領 印 度	ブ リ タ ン	チ バ ー ル	イ タ リ ス 領 印 度	ポ ー ル チ オ	群 島 全 部	チ ー デ ル ラ ン ド 領 東 印 度	(スマトラ)
六五〇	六二八	二二五	一三四	二五	二	一七	五四	一、六四一	二八二	七三六	一六六	
一七、五四五	九〇〇乃至九五〇	四、〇〇〇	八一〇	三、五七七	五七二	二〇	二、〇〇〇乃至二、〇〇〇	二九四、二六七	一、七〇〇	三四、〇〇〇	三、〇〇〇	
				一九〇一年 三月一日調				一九〇一年三月 十五日調				

清 韓	日 本	ア ジ ア ロ シ ア	チ フ リ ス	タ シ キ タ ン ト	パ ク	東 京	大 阪	京 都	名 古 屋	神 戸	横 濱	廣 島	長 崎	京 城	廣 東	北 京
		一六二	一六二	一五六	一一三	一、四四〇	八二一	三五三	二四四	二二六	一九四	一一三	一〇七	一九三	二、〇〇〇	一、六〇〇
		一六二	一六二	一五六	一一三	一、四四〇	八二一	三五三	二四四	二二六	一九四	一一三	一〇七	一九三	二、〇〇〇	一、六〇〇
漢 口	天 津	杭 州	福 州	上 海	蘇 州	江 寧	重 慶	寧 波	鎮 江	河 内	シ ン ガ ポ ー ル	海 峽 植 民 地	ジ ン ギ ン	バ タ ビ ア	ス ラ バ ヤ	
八五〇	七〇〇	七〇〇	六五〇	六二〇	五〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	二五五	一四〇	一五〇	二二九	一一五	一四三	

アジア都府の人口(一、〇〇〇世)

シヤム	バンコク	六〇〇		ラングーン	二二四
フィリピン	マニラ	三五〇		ゼーラ	二〇八
イギリス領印度	カルカッタ	一、二二二		ベナレス	二〇三
	ボンベイ	七七一		コロンボ	一五八
	マドラス	五〇九		ラヘラン	二五〇
	ハイダラバード	四四六		タブリズ	一八〇
	ラキノウ	二六四	アジアトルコ	ネミルカ	二〇二

備考、清國に於ては首府及び主要開港場のみを掲げイギリス領印度及び
 アジアトルコに於ては人口二十萬以上のもののみを掲ぐ。

オセアニア洲之部(小なるものはこれを省く)

地名	面積 <small>一〇〇〇方哩位</small>	人口 <small>一〇〇〇位</small>	備考
オーストラリア聯邦	二、九七二	三、七六七	
(ニューサウスウェールズ)	三二〇	一、三五二	
(ビクトリア)	八八	一、二〇二	

(ツインズランド)	六六八	四九七
(南オーストラリア)	九〇四	三六三
(西オーストラリア)	九七六	一八二
(タスマニア)	二六	一七二
ニューゼーランド	一〇四	七七二
セレベス	七一	一、九九八
モルッカ	四四	三九九
ニューギニア	三二二	六六〇
ビスマルク群島	二〇	一八八
ソロモン群島	四	四五
ニューヘブライズ	五	五八
ニューカレドニア	八	五三
サンドウィッチ群島	七	一五四
フィジー諸島	八	一一八
トングア諸島	八	二二

オーストラリア	シドニー	四五一	オーストラリア	ブリスベーン	一一九
メルボルン	メルボルン	四九四	アドレイド	アドレイド	一六一
オセアニア都府の人口(平均)		二四			

人口十萬以上のもののみを掲ぐ

最新女子地理教科書 外國之部上巻附表

明治三十六年二月四日印刷
 明治三十六年二月七日發行

定一上巻金四拾五錢
 下巻金五拾五錢

著者 山上萬次郎
 東京市四谷區四谷本村町十九番地

發行兼印刷者 大日本圖書株式會社
 東京市京橋區銀座堂丁目廿二番地

右代表者 専務取締役 宮川保太郎



發賣所

東京市京橋區銀座堂丁目廿二番地
大日本圖書株式會社
 大阪市東區北久太郎町四丁目十七番屋敷
 大日本圖書株式會社支社

各府縣下 特約販賣所

著 郎 次 萬 上 山 士 學 理
覽 概 圖 地 及 書 科 教 科 理 地

● 最 近 中 學 地 理 教 科 書 全 五 册

日本之部 全一册 外國之部 全三册 地文之部 全二册

● 最 近 女 子 地 理 教 科 書 全 四 册

日本之部 全一册 外國之部 全三册 地文之部 全一册

● 最 近 地 文 學 教 科 書 全 一 册

● 最 近 中 學 教 科 用 地 圖 全 四 册

日本之部 全一册 外國之部 全三册

● 最 近 女 子 教 科 用 地 圖 全 三 册

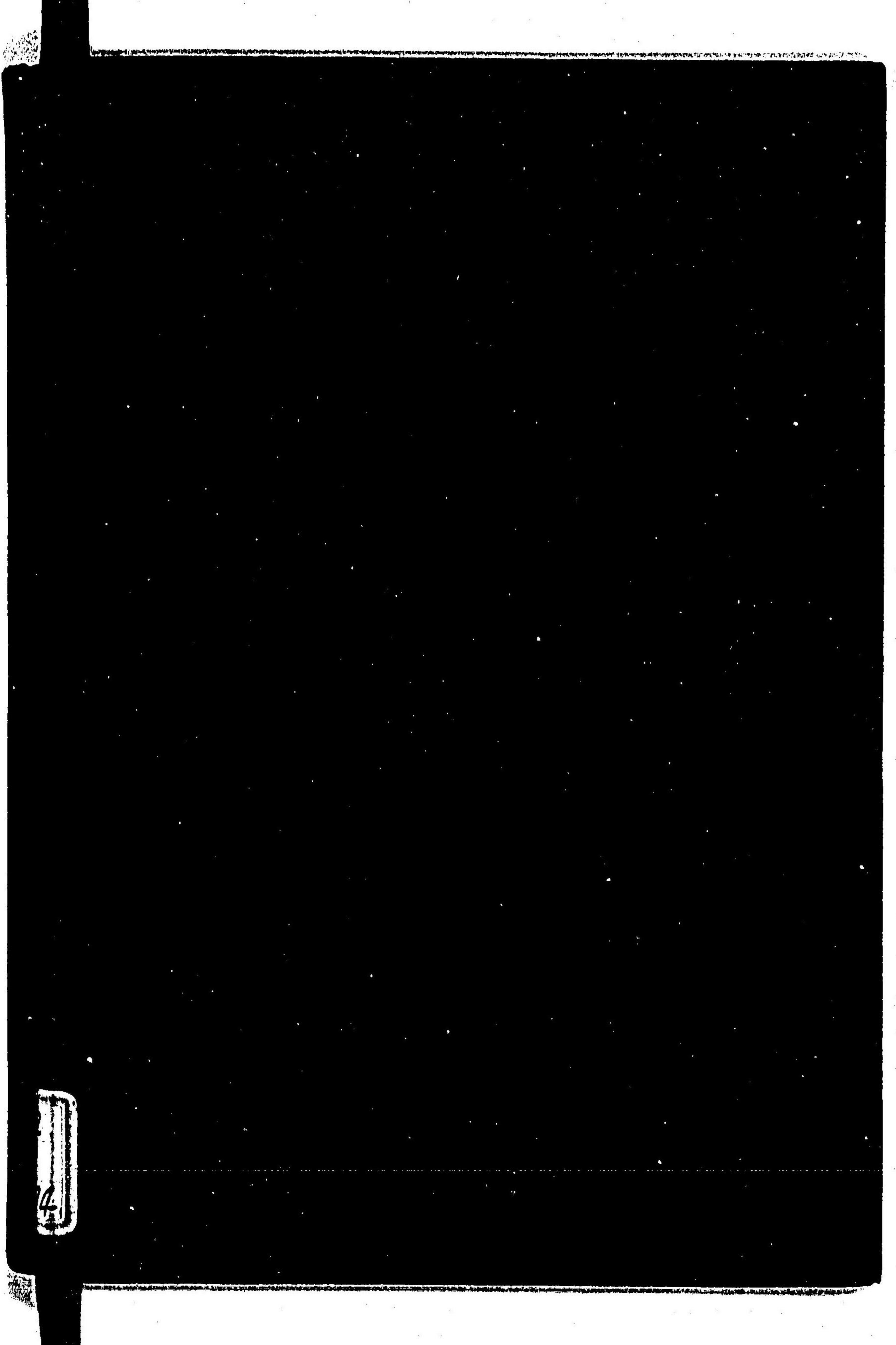
日本之部 全一册 外國之部 全二册

● 最 近 英 文 中 等 教 科 用 外 國 地 圖 全 一 册

中 等 教 育 用 白 地 圖

大 日 本 國 書 株 式 會 社 編 輯 全 貳 拾 枚

92
274



4

92
274

(M)

